

令和4年度

青森県公営企業会計決算審査意見書

青森県工業用水道事業会計

青森県下水道事業会計

青森県病院事業会計

青森県監査委員



青 監 査 第 2 6 号  
令 和 5 年 7 月 4 日

青森県知事 宮 下 宗一郎 殿

青森県監査委員 竹 内 均  
青森県監査委員 川 嶋 由紀子  
青森県監査委員 櫛 引 ユキ子  
青森県監査委員 小比類巻 正規

令和 4 年度青森県公営企業会計決算審査意見書について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された、令和4年度青森県工業用水道事業会計、令和4年度青森県下水道事業会計及び令和4年度青森県病院事業会計の決算並びに同条第1項の書類について審査した結果、別紙のとおり意見書を提出します。



# 目 次

## 青森県工業用水道事業会計

第1	審 査 の 方 法	1
第2	審査の結果及び意見	1
第3	決 算 の 概 要	
1	事 業 の 概 況	2
2	決 算 の 状 況	3
3	経 営 の 実 績	3
4	財 政 状 況	5
別 表		
別表1	令和4年度給水実績調	7
別表2	事業実績対前年度比較調	8
別表3	比較損益計算書	9
別表4	比較貸借対照表	10

## 青森県下水道事業会計

第1	審 査 の 方 法	13
第2	審査の結果及び意見	13
第3	決 算 の 概 要	
1	流域下水道事業	
(1)	事 業 の 概 況	14
(2)	決 算 の 状 況	15
(3)	経 営 の 実 績	16
(4)	財 政 状 況	17
2	十和田湖特定環境保全公共下水道事業	
(1)	事 業 の 概 況	18
(2)	決 算 の 状 況	18
(3)	経 営 の 実 績	19
(4)	財 政 状 況	20
別 表		
別表1	令和4年度処理水量実績調（流域下水道事業）	21
別表2	令和4年度処理水量実績調 （十和田湖特定環境保全公共下水道事業）	22
別表3	比較損益計算書（合計）	23

別表 4	比較損益計算書（流域下水道事業）	24
別表 5	比較損益計算書（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）	25
別表 6	比較貸借対照表（合計）	26
別表 7	比較貸借対照表（流域下水道事業）	28
別表 8	比較貸借対照表（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）	30

## 青森県病院事業会計

第 1	審 査 の 方 法	33
第 2	審査の結果及び意見	33
1	青森県立中央病院	
2	青森県立つくしが丘病院	
第 3	決 算 の 概 要	
1	青森県立中央病院	
(1)	事業の概況	35
(2)	決算の状況	36
(3)	経営の実績	36
(4)	財政状況	38
2	青森県立つくしが丘病院	
(1)	事業の概況	39
(2)	決算の状況	39
(3)	経営の実績	40
(4)	財政状況	41

### 別 表（青森県立中央病院）

別表 1	利用患者状況調	43
別表 2	年度別患者数比較表	44
別表 3	比較損益計算書	45
別表 4	比較貸借対照表	46

### 別 表（青森県立つくしが丘病院）

別表 5	利用患者状況調	49
別表 6	比較損益計算書	50
別表 7	比較貸借対照表	51

# 青森県工業用水道事業会計





## 第1 審査の方法

令和4年度青森県工業用水道事業会計の決算審査に当たっては、審査に付された決算書類及び決算附属書類について、青森県監査委員監査基準に準拠し、

- 1 適法性及び正確性
- 2 事業運営の経済性
- 3 公共の福祉の増進

などに重点をおき照合精査するとともに、定期監査及び例月出納検査の結果をも参考にして審査を実施した。

## 第2 審査の結果及び意見

審査の結果、決算書類及び決算附属書類は関係法令等に基づいて作成され、令和4年度の経営成績及び令和5年3月31日現在の財政状態を適正に表示していることを確認した。

当年度の事業収支は、事業収益832,807,790円、事業費用750,434,855円で、純利益82,372,935円を計上しており、当年度末の累積剰余金は1,355,464,486円となっている。

工業用水道事業を取り巻く経営環境は、施設・設備の老朽化対策に係る修繕費の増加等により、今後厳しい状況が続くと見込まれることから、一層の経営安定化を図るとともに、施設・設備の更新、改良、修繕を計画的かつ効率的に実施するよう努める必要がある。

## 第3 決算の概要

### 1 事業の概況

#### (1) 施設の状況

当施設の1日最大給水能力は、350,000立方メートルである。

当年度末における給水先事業所数は、10箇所である。

また、当年度末における1日当たり基本使用水量は、302,810立方メートルとなっている。

#### (2) 職員の状況

当年度末における職員数は18人で、前年度と同じである。

職員の配置は、本庁7人及び八戸工業用水道管理事務所11人となっている。

#### (3) 給水量の状況（別表1・2参照）

当年度の料金対象使用水量は112,362,447立方メートルである。

これは、年間の基本使用水量110,525,650立方メートルに特定使用水量1,939,440立方メートルを加え、減免使用水量102,643立方メートルを差し引いたものである。

#### (4) 建設改良の状況

当年度における建設改良費は58,509,000円で、その主なものは電気設備更新実施設計（基本・詳細設計）業務委託26,270,200円、取水口詰所等改修工事13,215,400円及び送水幹線制水弁新設設計業務委託10,637,000円である。

## 2 決算の状況

### (1) 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B - A	予算額に対する 決算額の比率 B / A
	円	円	円	%
収 入	910,452,000	915,731,697	5,279,697	100.6
支 出	885,413,000	828,055,683	△ 57,357,317	93.5
収支差引	25,039,000	87,676,014	62,637,014	-

### (2) 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B - A	予算額に対する 決算額の比率 B / A
	円	円	円	%
収 入	0	4,484,176	4,484,176	-
支 出	173,946,000	154,030,166	△ 19,915,834	88.6
収支差引	△ 173,946,000	△ 149,545,990	24,400,010	-

資本的収入額が資本的支出額に不足する額149,545,990円は、建設改良積立金48,705,824円、損益勘定留保資金95,521,166円並びに消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,319,000円で補てんしている。

## 3 経営の実績 (別表3・4参照)

### (1) 損益計算書

令和4年度の損益状況についてみると、事業収益832,807,790円から事業費用750,434,855円を差し引いた純利益は82,372,935円で、前年度の純利益141,521,368円に比較して59,148,433円(41.8%)減少している。

**ア** 営業収益は829,234,830円で、前年度に比較して5,382,872円(0.6%)減少している。

これは、給水収益の減によるものである。

**イ** 営業外収益は3,572,960円で、前年度に比較して1,375,741円(62.6%)増加している。

これは、長期前受金戻入で22,505円（1.6%）及び受取利息及び配当金で11,224円（3.2%）減となったが、雑収益で1,409,470円（339.5%）増となったことによるものである。

**ウ** 営業費用は743,476,568円で、前年度に比較して56,056,602円（8.2%）増加している。

これは、主として、総係費で4,952,392円（7.6%）減となったが、配水及び給水費で57,213,049円（11.8%）増となったことによるものである。

**エ** 営業外費用は6,958,287円で、前年度に比較して915,300円（11.6%）減少している。

これは、雑支出で1,683,396円（9,647.5%）増となったが、支払利息及び企業債取扱諸費で2,598,696円（33.1%）減となったことによるものである。

**オ** 営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は85,758,262円で、前年度の営業利益147,197,736円に比較して61,439,474円（41.7%）減少している。

**カ** 営業収益及び営業外収益から営業費用及び営業外費用を差し引いた経常利益は82,372,935円で、前年度の経常利益141,521,368円に比較して59,148,433円（41.8%）減少している。

## **(2) 剰余金計算書**

### **ア 利益剰余金**

当年度未処分利益剰余金は131,078,759円となったが、これは当年度純利益82,372,935円にその他未処分利益剰余金変動額48,705,824円を加えたものである。

また、前年度未処分利益剰余金147,936,433円は、建設改良積立金141,521,368円及び資本金の組入資本金6,415,065円として処分している。

### **イ 資本剰余金**

資本剰余金の当年度末残高は182,860円で、前年度末残高と同じである。

## **(3) 剰余金処分計算書（案）**

当年度未処分利益剰余金131,078,759円は、利益積立金として82,372,935円を積み立てし、資本金に48,705,824円を組み入れすることになっている。

## 4 財政状況（別表4参照）

### （1）貸借対照表

#### ア 資産

当年度末における資産合計は6,677,272,350円で、前年度に比較して5,625,969円（0.1%）減少している。

これは、主として、流動資産のうち現金預金で81,978,531円（15.3%）及び有価証券で3,600,000円（0.1%）増となったが、固定資産のうち有形固定資産で90,642,748円（2.7%）減となったことによるものである。

#### イ 負債

当年度末における負債合計は379,416,671円で、前年度に比較して87,998,904円（18.8%）減少している。

これは、主として、流動負債のうち未払金で4,049,426円（8.4%）及び固定負債のうち引当金で3,953,359円（3.4%）増となったが、固定負債のうち企業債で63,969,857円（38.5%）及び流動負債のうち企業債で31,551,309円（33.0%）減となったことによるものである。

#### ウ 資本

当年度末における資本合計は6,297,855,679円で、前年度に比較して82,372,935円（1.3%）増加している。

これは、主として、剰余金のうち当年度未処分利益剰余金で16,857,674円（11.4%）減となったものの、建設改良積立金で92,815,544円（8.2%）増となったことによるものである。

### （2）資金収支

当年度の受入資金総額10,438,082,077円に対し、支払資金総額は7,101,943,186円で、資金残高は3,336,138,891円であり、譲渡性預金2,717,000,000円、普通預金536,138,891円及び定期預金83,000,000円として保管されている。



## 別 表

別表1 令和4年度給水実績調

別表2 事業実績対前年度比較調

別表3 比較損益計算書

別表4 比較貸借対照表





## 別表 1

## 令和4年度給水実績調

給水先事業所	基本 使用水量 (A)	特 定 使用水量 (B)	超 過 使用水量 (C)	減 免 使用水量 (D)	料金対象 使用水量 (A) + (B) + (C) - (D)	給水料金 円
	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
三菱製紙(株)八戸工場	91,250,000	0	0	83,334	91,166,666	740,091,000
大平洋金属(株)	8,322,000	0	0	7,600	8,314,400	67,496,296
八戸地域広域市町村圏事務組合 八戸環境クリーンセンター	219,000	0	0	200	218,800	1,776,212
(株)新菱八戸工場	2,372,500	792,000	0	2,833	3,161,667	25,666,410
高周波鑄造(株)	613,200	0	0	560	612,640	4,973,407
八戸製錬(株)八戸製錬所	3,066,000	1,147,440	0	3,840	4,209,600	34,173,529
合同酒精(株)酵素医薬品工場	912,500	0	0	833	911,667	7,400,910
東北電力(株)八戸火力発電所	803,000	0	0	733	802,267	6,512,795
片倉コープアグリ(株)八戸工場	2,372,500	0	0	2,167	2,370,333	19,242,365
八戸バイオマス発電(株)	594,950	0	0	543	594,407	4,825,388
合 計	110,525,650	1,939,440	0	102,643	112,362,447	912,158,312

## 別表 2

## 事業実績対前年度比較調

区分	料金対象使用水量			給水料金			
	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減(△) (B)-(A)	令和3年度 (C)	令和4年度 (D)	増減(△) (D)-(C)=(E)	伸び率 (E)/(C)
月	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	円	円	円	%
4	9,567,900	9,267,900	△ 300,000	77,672,211	75,236,811	△ 2,435,400	△ 3.1
5	9,696,830	9,576,830	△ 120,000	78,718,863	77,744,703	△ 974,160	△ 1.2
6	9,164,923	9,136,257	△ 28,666	74,400,843	74,168,128	△ 232,715	△ 0.3
7	9,584,270	9,553,270	△ 31,000	77,805,101	77,553,443	△ 251,658	△ 0.3
8	9,584,270	9,553,270	△ 31,000	77,805,101	77,553,443	△ 251,658	△ 0.3
9	9,234,780	9,245,100	10,320	74,967,943	75,051,721	83,778	0.1
10	9,574,190	9,553,270	△ 20,920	77,723,271	77,553,443	△ 169,828	△ 0.2
11	9,275,100	9,245,100	△ 30,000	75,295,261	75,051,721	△ 243,540	△ 0.3
12	9,584,270	9,553,270	△ 31,000	77,805,101	77,553,443	△ 251,658	△ 0.3
1	9,584,270	9,553,270	△ 31,000	77,805,101	77,553,443	△ 251,658	△ 0.3
2	8,656,760	8,628,760	△ 28,000	70,275,575	70,048,271	△ 227,304	△ 0.3
3	9,584,270	9,496,150	△ 88,120	77,805,101	77,089,742	△ 715,359	△ 0.9
計	113,091,833	112,362,447	△ 729,386	(834,617,702) 918,079,472	(829,234,830) 912,158,312	(△ 5,382,872) △ 5,921,160	(△ 0.6) △ 0.6

注：( ) は消費税及び地方消費税抜きの額である。

## 別表 3

## 比較損益計算書

科 目	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C)-(B)	伸び率 (D)/(B)
営業収益	円 858,147,173	% 99.8	円 834,617,702	% 99.7	円 829,234,830	% 99.6	円 △ 5,382,872	% △ 0.6
給水収益	858,147,173	99.8	834,617,702	99.7	829,234,830	99.6	△ 5,382,872	△ 0.6
営業費用	639,242,840	98.4	687,419,966	98.9	743,476,568	99.1	56,056,602	8.2
(1) 配水及び給水費	447,371,547	68.9	482,869,820	69.4	540,082,869	72.0	57,213,049	11.8
(2) 総係費	50,303,549	7.7	65,390,685	9.4	60,438,293	8.1	△ 4,952,392	△ 7.6
(3) 減価償却費	141,493,159	21.8	137,259,649	19.7	136,500,301	18.2	△ 759,348	△ 0.6
(4) 資産減耗費	74,585	0.0	1,899,812	0.3	6,455,105	0.9	4,555,293	239.8
営業損益	218,904,333	—	147,197,736	—	85,758,262	—	△ 61,439,474	△ 41.7
営業外収益	1,983,274	0.2	2,197,219	0.3	3,572,960	0.4	1,375,741	62.6
(1) 受取利息及び配当金	535,800	0.1	355,884	0.0	344,660	0.0	△ 11,224	△ 3.2
(2) 長期前受金戻入	1,435,001	0.2	1,426,231	0.2	1,403,726	0.2	△ 22,505	△ 1.6
(3) 雑収益	12,473	0.0	415,104	0.0	1,824,574	0.2	1,409,470	339.5
営業外費用	10,481,258	1.6	7,873,587	1.1	6,958,287	0.9	△ 915,300	△ 11.6
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	10,458,036	1.6	7,856,138	1.1	5,257,442	0.7	△ 2,598,696	△ 33.1
(2) 雑支出	23,222	0.0	17,449	0.0	1,700,845	0.2	1,683,396	9,647.5
営業外損益	△ 8,497,984	—	△ 5,676,368	—	△ 3,385,327	—	2,291,041	40.4
経常損益	210,406,349	—	141,521,368	—	82,372,935	—	△ 59,148,433	△ 41.8
(事業収益合計)	860,130,447	100.0	836,814,921	100.0	832,807,790	100.0	△ 4,007,131	△ 0.5
(事業費用合計)	649,724,098	100.0	695,293,553	100.0	750,434,855	100.0	55,141,302	7.9
当年度純損益	210,406,349	—	141,521,368	—	82,372,935	—	△ 59,148,433	△ 41.8
その他未処分利益剰 余金変動額	10,925,939	—	6,415,065	—	48,705,824	—	42,290,759	659.2
当年度未処分利益剰 余金	221,332,288	—	147,936,433	—	131,078,759	—	△ 16,857,674	△ 11.4

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 別表 4

## 比較貸借対照表(1)

科 目	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		比較増減※	
	金 額 (A)	構成 比率	金 額 (B)	構成 比率	金 額 (C)	構成 比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定資産</b>	3,477,263,414	51.8	3,344,620,058	50.0	3,253,977,310	48.7	△ 90,642,748	△ 2.7
(1) 有形固定資産	3,476,756,694	51.8	3,344,102,298	50.0	3,253,459,550	48.7	△ 90,642,748	△ 2.7
土地	272,520,270	4.1	272,520,270	4.1	268,036,094	4.0	△ 4,484,176	△ 1.6
建物	74,892,858	1.1	72,205,484	1.1	81,083,131	1.2	8,877,647	12.3
構築物	2,728,836,578	40.7	2,637,164,599	39.5	2,545,467,658	38.1	△ 91,696,941	△ 3.5
機械及び装置	301,827,469	4.5	261,509,850	3.9	221,353,778	3.3	△ 40,156,072	△ 15.4
車両運搬具	181,658	0.0	3,402,166	0.1	2,804,816	0.0	△ 597,350	△ 17.6
工具、器具及び備品	15,582,625	0.2	13,093,136	0.2	11,505,837	0.2	△ 1,587,299	△ 12.1
建設準備勘定	53,910,000	0.8	53,910,000	0.8	53,910,000	0.8	0	0.0
建設仮勘定	29,005,236	0.4	30,296,793	0.5	69,298,236	1.0	39,001,443	128.7
(2) 無形固定資産	493,060	0.0	493,060	0.0	493,060	0.0	0	0.0
電話加入権	493,060	0.0	493,060	0.0	493,060	0.0	0	0.0
(3) 投資その他の資産	13,660	0.0	24,700	0.0	24,700	0.0	0	0.0
その他投資	13,660	0.0	24,700	0.0	24,700	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	3,230,369,311	48.2	3,338,278,261	50.0	3,423,295,040	51.3	85,016,779	2.5
(1) 現金預金	489,717,444	7.3	537,160,360	8.0	619,138,891	9.3	81,978,531	15.3
(2) 未収金	80,392,175	1.2	77,829,729	1.2	77,528,787	1.2	△ 300,942	△ 0.4
(3) 有価証券	2,650,000,000	39.5	2,713,400,000	40.6	2,717,000,000	40.7	3,600,000	0.1
(4) 貯蔵品	10,259,692	0.2	9,888,172	0.1	9,627,362	0.1	△ 260,810	△ 2.6
<b>(資産合計)</b>	<b>6,707,632,725</b>	<b>100.0</b>	<b>6,682,898,319</b>	<b>100.0</b>	<b>6,677,272,350</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 5,625,969</b>	<b>△ 0.1</b>

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 比較貸借対照表(2)

科 目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D)=(C)-(B)	伸び率(D)/(B)
<b>固定負債</b>	円 365,379,678	% 5.4	円 283,217,666	% 4.2	円 223,201,168	% 3.3	円 △ 60,016,498	% △ 21.2
(1) 企業債	261,528,782	3.9	166,007,616	2.5	102,037,759	1.5	△ 63,969,857	△ 38.5
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	261,528,782	3.9	166,007,616	2.5	102,037,759	1.5	△ 63,969,857	△ 38.5
(2) 引当金	103,850,896	1.5	117,210,050	1.8	121,163,409	1.8	3,953,359	3.4
退職給付引当金	54,040,547	0.8	67,399,701	1.0	71,353,060	1.1	3,953,359	5.9
修繕引当金	49,810,349	0.7	49,810,349	0.7	49,810,349	0.7	0	0.0
<b>流動負債</b>	237,799,648	3.5	155,132,117	2.3	128,553,437	1.9	△ 26,578,680	△ 17.1
(1) 企業債	102,151,140	1.5	95,521,166	1.4	63,969,857	1.0	△ 31,551,309	△ 33.0
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	102,151,140	1.5	95,521,166	1.4	63,969,857	1.0	△ 31,551,309	△ 33.0
(2) 未払金	123,653,172	1.8	48,005,724	0.7	52,055,150	0.8	4,049,426	8.4
(3) 引当金	10,935,000	0.2	10,542,000	0.2	11,490,000	0.2	948,000	9.0
賞与引当金	9,175,000	0.1	8,842,000	0.1	9,616,000	0.1	774,000	8.8
法定福利費引当金	1,760,000	0.0	1,700,000	0.0	1,874,000	0.0	174,000	10.2
(4) その他流動負債	1,060,336	0.0	1,063,227	0.0	1,038,430	0.0	△ 24,797	△ 2.3
<b>繰延収益</b>	30,492,023	0.5	29,065,792	0.4	27,662,066	0.4	△ 1,403,726	△ 4.8
(1) 長期前受金	113,110,412	1.7	113,110,412	1.7	113,110,412	1.7	0	0.0
(2) 長期前受金 収益化累計額	△ 82,618,389	△ 1.2	△ 84,044,620	△ 1.3	△ 85,448,346	△ 1.3	△ 1,403,726	△ 1.7
<b>(負債合計)</b>	633,671,349	9.4	467,415,575	7.0	379,416,671	5.7	△ 87,998,904	△ 18.8
<b>資本金</b>	4,925,050,189	73.4	4,935,976,128	73.9	4,942,391,193	74.0	6,415,065	0.1
<b>剰余金</b>	1,148,911,187	17.1	1,279,506,616	19.1	1,355,464,486	20.3	75,957,870	5.9
(1) 資本剰余金	182,860	0.0	182,860	0.0	182,860	0.0	0	0.0
受贈財産評価額	182,860	0.0	182,860	0.0	182,860	0.0	0	0.0
(2) 利益剰余金	1,148,728,327	17.1	1,279,323,756	19.1	1,355,281,626	20.3	75,957,870	5.9
建設改良積立金	927,396,039	13.8	1,131,387,323	16.9	1,224,202,867	18.3	92,815,544	8.2
当年度未処分 利益剰余金	221,332,288	3.3	147,936,433	2.2	131,078,759	2.0	△ 16,857,674	△ 11.4
<b>(資本合計)</b>	6,073,961,376	90.6	6,215,482,744	93.0	6,297,855,679	94.3	82,372,935	1.3
<b>負債・資本合計</b>	6,707,632,725	100.0	6,682,898,319	100.0	6,677,272,350	100.0	△ 5,625,969	△ 0.1

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。



# 青森県下水道事業会計





## 第1 審査の方法

令和4年度青森県下水道事業会計の決算審査に当たっては、審査に付された決算書類及び決算附属書類について、青森県監査委員監査基準に準拠し、

- 1 適法性及び正確性
- 2 事業運営の経済性
- 3 公共の福祉の増進

などに重点をおき照合精査するとともに、定期監査及び例月出納検査の結果をも参考にして審査を実施した。

## 第2 審査の結果及び意見

審査の結果、決算書類及び決算附属書類は関係法令等に基づいて作成され、令和4年度の経営成績及び令和5年3月31日現在の財政状態を適正に表示していることを確認した。

青森県下水道事業の当年度の事業収支は、事業収益4,678,958,153円、事業費用4,686,624,882円で、純損失7,666,729円を計上しており、当年度未処理欠損金は219,696,499円となっている。

これを事業ごとにみると、流域下水道事業については、事業収益4,338,600,452円、事業費用4,343,394,800円で、純損失4,794,348円を計上している。

また、十和田湖特定環境保全公共下水道事業については、事業収益340,357,701円、事業費用343,230,082円で、純損失2,872,381円を計上している。なお、本事業では、過年度営業未収金が2,499,116円となっており、前年度より188,020円減少しているものの、引き続き未収金の縮減に努める必要がある。

青森県下水道事業は、令和2年度から、地方公営企業法を一部適用し、公営企業会計に移行したが、これに伴う会計処理の見直しにより、純損失を計上している。

いずれの事業も施設供用開始後30年以上経過しており、老朽化した施設の更新等により、経営環境は今後厳しくなるものと見込まれる。

このため、「青森県下水道事業経営戦略」等に基づき、中長期的な視点に立った計画的な経営基盤の強化等に取り組み、施設の計画的かつ効率的な更新及び事業費用の平準化を図りながら、安定的かつ持続的な経営を行う必要がある。

## 第3 決算の概要

### 1 流域下水道事業

#### (1) 事業の概況

##### ア 施設の状況

###### (ア) 岩木川流域下水道事業

岩木川浄化センターの1日最大処理水量は99,000立方メートルである。

当年度末における対象地域は8市町村（青森市、弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、大鰐町、田舎館村及び板柳町）である。

###### (イ) 馬淵川流域下水道事業

馬淵川浄化センターの1日最大処理水量は19,200立方メートルである。

当年度末における対象地域は4市町（八戸市、六戸町、おいらせ町及び五戸町）である。

##### イ 職員の状況

当年度末における職員数は6人である。

職員の配置は、本庁3人、中南地域県民局地域整備部2人及び三八地域県民局地域整備部1人である。

##### ウ 処理水量の状況（別表1参照）

###### (ア) 岩木川流域下水道事業

当年度の岩木川浄化センターの処理水量は28,710,290立方メートル（1日平均78,658立方メートル）で、うち弘前幹線からの流入水量が20,659,520立方メートル、藤崎幹線からの流入水量が8,050,770立方メートルである。

###### (イ) 馬淵川流域下水道事業

当年度の馬淵川浄化センターの処理水量は5,240,658立方メートル（1日平均14,358立方メートル）で、うち八戸幹線からの流入水量が2,788,473立方メートル、六戸・八戸幹線からの流入水量が2,452,185立方メートルである。

## エ 建設改良の状況

### (ア) 岩木川流域下水道事業

当年度における建設改良費の総額は383,818,410円で、その主なものは、岩木川浄化センター沈砂池ポンプ棟外監視制御設備更新工事193,160,000円、岩木川流域下水道岩木川浄化センター再構築基本設計(耐震実施計画)業務委託33,370,000円、岩木川浄化センター脱臭設備再検討・詳細設計業務委託18,834,000円、岩木川流域下水道岩木川浄化センター汚泥有効利用に係る事業者選定支援業務委託16,000,000円及び岩木川流域下水道浪岡田舎館幹線管路施設改築工事15,158,000円である。

### (イ) 馬淵川流域下水道事業

当年度における建設改良費の総額は490,548,291円で、その主なものは、馬淵川浄化センター管理棟受変電設備更新工事112,398,000円、馬淵川浄化センター1-2系最初沈殿池機械設備更新工事85,140,000円、馬淵川流域下水道管路施設改築(管きよ更生その8)工事74,030,000円、百石汚水中継ポンプ場自家発電設備更新工事73,270,000円及び馬淵川流域下水道管路施設改築(管きよ更生その9)工事51,068,000円である。

## (2) 決算の状況

### ア 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	4,805,167,000	4,537,444,190	△ 267,722,810	94.4
支 出	4,830,662,000	4,519,261,060	△ 311,400,940	93.6
収支差引	△ 25,495,000	18,183,130	43,678,130	-

### イ 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	2,355,305,500	1,506,442,668	△ 848,862,832	64.0
支 出	2,473,492,000	1,401,525,869	△ 1,071,966,131	56.7
収支差引	△ 118,186,500	104,916,799	223,103,299	-

資本的収入及び支出の収支差引104,916,799円から翌年度へ繰り越される支出の財源223,000,000円を差し引いた、資本的収入額が資本的支出額に不足する額

118,083,201円は、繰越工事資金112,414,500円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,668,701円で補てんしている。

### (3) 経営の実績 (別表4・7参照)

#### ア 損益計算書

令和4年度の損益状況についてみると、事業収益4,338,600,452円から事業費用4,343,394,800円を差し引いた純損失は4,794,348円で、前年度の純損失78,415,570円に比較して73,621,222円(93.9%)減少している。

(ア) 営業収益は1,814,072,860円で、前年度に比較して14,452,741円(0.8%)減少している。

これは、負担金の減によるものである。

(イ) 営業外収益は2,524,527,592円で、前年度に比較して74,491,877円(2.9%)減少している。

これは、主として、その他負担金で3,042,729円(皆増)増となったが、長期前受金戻入で76,272,668円(3.0%)減となったことによるものである。

(ウ) 営業費用は4,222,738,884円で、前年度に比較して242,081,801円(5.4%)減少している。

これは、主として、減価償却費で235,152,375円(9.3%)減となったことによるものである。

(エ) 営業外費用は120,655,916円で、前年度に比較して18,012,068円(17.5%)増加している。

これは、支払利息及び企業債取扱諸費で10,411,897円(10.1%)減となったが、雑支出で28,423,965円(皆増)増となったことによるものである。

(オ) 営業収益から営業費用を差し引いた営業損失は2,408,666,024円で前年度の営業損失2,636,295,084円に比較して227,629,060円(8.6%)減少している。

(カ) 営業収益及び営業外収益から営業費用及び営業外費用を差し引いた経常損失は4,794,348円で前年度の経常損失139,919,463円に比較して135,125,115円(96.6%)減少している。

## イ 欠損金計算書

### (ア) 欠損金

当年度未処理欠損金は210,262,274円となったが、これは前年度末の残高205,467,926円に当年度の純損失4,794,348円を加えたものである。

### (イ) 資本剰余金

資本剰余金の当年度末残高は2,781,852,486円で、前年度末残高と同じである。

## ウ 欠損金処理計算書

当年度未処理欠損金210,262,274円は、全額、翌年度に繰り越すことにしている。

## (4) 財政状況 (別表7参照)

### ア 貸借対照表

#### (ア) 資産

当年度末における資産合計は43,788,063,508円で、前年度に比較して1,460,945,970円(3.2%)減少している。

これは、流動資産のうち現金預金で130,633,569円(13.4%)及び未収金で101,797,622円(62.1%)増となったが、固定資産のうち有形固定資産で1,693,377,161円(3.8%)減となったことによるものである。

#### (イ) 負債

当年度末における負債合計は39,810,710,906円で、前年度に比較して1,456,151,622円(3.5%)減少している。

これは、主として、繰延収益で1,289,065,326円(3.8%)減となったことによるものである。

#### (ウ) 資本

当年度末における資本合計は3,977,352,602円で、前年度に比較して4,794,348円(0.1%)減少している。

これは、純損失4,794,348円が生じたことによるものである。

## イ 資金収支

当年度の受入資金総額4,695,502,819円に対し、支払資金総額は3,592,334,284円で、資金残高は1,103,168,535円であり、普通預金1,103,168,535円として保管されている。

## 2 十和田湖特定環境保全公共下水道事業

### (1) 事業の概況

#### ア 施設の状況

十和田湖浄化センターの1日最大処理水量は4,850立方メートルである。

当年度末における対象地域は、十和田市及び秋田県鹿角郡小坂町である。

#### イ 処理水量の状況 (別表2参照)

当年度の十和田湖浄化センターの処理水量は152,062立方メートル(1日平均417立方メートル)で、休屋・宇樽部幹線からの流入水量が132,972立方メートル、子ノ口・宇樽部幹線からの流入水量が19,090立方メートルである。

#### ウ 建設改良の状況

当年度における建設改良費の総額は131,979,400円で、その主なものは、休屋第2ポンプ場機械設備更新工事48,257,000円、休屋第2ポンプ場電気設備更新工事23,511,400円、十和田湖特定環境保全公共下水道効率的事業実施計画検討業務委託13,618,000円、十和田湖特定環境保全公共下水道効率的事業実施経過検討業務委託12,573,000円及び十和田湖浄化センター外電気計装設備等更新設計業務委託10,000,000円である。

### (2) 決算の状況

#### ア 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	349,584,000	346,606,380	△ 2,977,620	99.1
支 出	355,410,000	349,776,862	△ 5,633,138	98.4
収支差引	△ 5,826,000	△ 3,170,482	2,655,518	-

## イ 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	86,860,000	86,860,000	0	100.0
支 出	172,951,400	172,951,400	0	100.0
収支差引	△ 86,091,400	△ 86,091,400	0	-

資本的収入額が資本的支出額に不足する額86,091,400円は、繰越工事資金82,800,000円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的調整額3,291,400円で補てんしている。

### (3) 経営の実績 (別表5・8参照)

#### ア 損益計算書

令和4年度の損益状況についてみると、事業収益340,357,701円から事業費用343,230,082円を差し引いた純損失は2,872,381円で、前年度の純利益6,183,204円に比較して9,055,585円(146.5%)減少している。

(ア) 営業収益は62,486,820円で、前年度に比較して7,164,021円(12.9%)増加している。

これは、負担金で5,210,881円(11.4%)及び下水道使用料で1,953,140円(20.5%)増となったことによるものである。

(イ) 営業外収益は277,870,881円で、前年度に比較して35,338,169円(11.3%)減少している。

これは、主として、長期前受金戻入で2,165,469円(1.4%)増となったが、他会計負担金で37,443,000円(24.2%)減となったことによるものである。

(ウ) 営業費用は332,427,606円で、前年度と比較して15,969,347円(4.6%)減少している。

これは、主として、管渠費で3,160,001円(235.8%)増となったが、ポンプ場費で18,531,091円(76.5%)減となったことによるものである。

(エ) 営業外費用は10,802,476円で、前年度と比較して3,148,244円(22.6%)減少している。

これは、主として、雑支出で3,146,143円(22.6%)減となったことによるものである。

(オ) 営業収益から営業費用を差し引いた営業損失は269,940,786円で、前年度の営業損失293,074,154円に比較して23,133,368円(7.9%)減少している。

(カ) 営業収益及び営業外収益から営業費用及び営業外費用を差し引いた経常損失は2,872,381円で、前年度の経常利益6,184,176円に比較して9,056,557円(146.4%)減少している。

## イ 欠損金計算書

(ア) 欠損金

当年度未処理欠損金は9,434,225円となったが、これは前年度末の残高6,561,844円に当年度の純損失2,872,381円を加えたものである。

(イ) 資本剰余金

資本剰余金の当年度末残高は153,047,580円で、前年度末残高と同じである。

## ウ 欠損金処理計算書

当年度未処理欠損金9,434,225円は、全額、翌年度に繰り越すことにしている。

## (4) 財政状況 (別表 8 参照)

### ア 貸借対照表

(ア) 資 産

当年度末における資産合計は3,207,427,710円で、前年度に比較して116,993,003円(3.5%)減少している。

これは、主として、流動資産のうち未収金で70,785,636円(78.6%)及び現金預金で23,761,763円(16.9%)減となったことによるものである。

(イ) 負 債

当年度末における負債合計は3,059,509,633円で、前年度に比較して114,120,622円(3.6%)減少している。

これは、主として、繰延収益で99,278,579円(3.3%)減となったことによるものである。

(ウ) 資 本

当年度末における資本合計は147,918,077円で、前年度に比較して2,872,381円(1.9%)減少している。

これは、純損失2,872,381円が生じたことによるものである。

### イ 資金収支

当年度の受入資金総額496,542,335円に対し、支払資金総額は379,649,538円で、資金残高は116,892,797円であり、普通預金116,892,797円として保管されている。



## 別 表

- 別表 1 令和 4 年度処理水量実績調（流域下水道事業）
- 別表 2 令和 4 年度処理水量実績調  
（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）
- 別表 3 比較損益計算書（合計）
- 別表 4 比較損益計算書（流域下水道事業）
- 別表 5 比較損益計算書  
（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）
- 別表 6 比較貸借対照表（合計）
- 別表 7 比較貸借対照表（流域下水道事業）
- 別表 8 比較貸借対照表  
（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）



## 別表 1

## 令和4年度処理水量実績調（流域下水道事業）

事業名	岩木川流域下水道事業			馬淵川流域下水道事業		
区分	岩木川浄化センター			馬淵川浄化センター		
	処理水量	うち 弘前幹線からの 流入水量	うち 藤崎幹線からの 流入水量	処理水量	うち 八戸幹線からの 流入水量	うち 六戸・八戸幹線 からの流入水量
月	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
4	2,256,240	1,661,490	594,750	392,237	217,372	174,865
5	2,116,550	1,537,810	578,740	401,036	220,169	180,867
6	2,197,770	1,597,510	600,260	395,794	216,677	179,117
7	2,359,870	1,738,590	621,280	447,538	252,643	194,895
8	3,178,460	2,181,610	996,850	581,104	325,491	255,613
9	2,311,920	1,653,270	658,650	442,582	236,530	206,052
10	2,282,490	1,656,580	625,910	443,425	227,733	215,692
11	2,216,190	1,612,730	603,460	404,030	207,364	196,666
12	2,565,210	1,834,490	730,720	438,500	225,066	213,434
1	2,406,580	1,744,200	662,380	436,508	222,920	213,588
2	2,170,410	1,579,590	590,820	407,112	211,262	195,850
3	2,648,600	1,861,650	786,950	450,792	225,246	225,546
計	28,710,290	20,659,520	8,050,770	5,240,658	2,788,473	2,452,185

## 別 表 2

## 令和4年度 処理水量実績調（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）

事業名	十和田湖特定環境保全公共下水道事業		
区分	十和田湖浄化センター		
	処理水量	うち休屋・ 宇樽部幹線 からの流入水量	うち子ノ口・ 宇樽部幹線 からの流入水量
月	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
4	9,949	8,535	1,414
5	12,250	11,214	1,036
6	13,301	11,566	1,735
7	12,728	11,259	1,469
8	30,879	24,514	6,365
9	14,894	13,170	1,724
10	16,081	14,847	1,234
11	11,880	11,106	774
12	7,903	7,005	898
1	6,973	6,320	653
2	6,659	6,203	456
3	8,565	7,233	1,332
計	152,062	132,972	19,090

## 別表 3

## 比較損益計算書(合計)

科目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率(D)/(B)
営業収益	円 1,916,231,401	% 40.3	円 1,883,848,400	% 38.8	円 1,876,559,680	% 40.1	円 △ 7,288,720	% △ 0.4
(1) 負担金	1,905,233,470	40.0	1,874,312,940	38.6	1,865,071,080	39.9	△ 9,241,860	△ 0.5
(2) 下水道使用料	10,997,931	0.2	9,535,460	0.2	11,488,600	0.2	1,953,140	20.5
営業費用	4,636,049,898	94.7	4,813,217,638	97.6	4,555,166,490	97.2	△ 258,051,148	△ 5.4
(1) 管渠費	912,910	0.0	5,682,425	0.1	4,802,457	0.1	△ 879,968	△ 15.5
(2) ポンプ場費	68,473,670	1.4	63,157,910	1.3	80,946,910	1.7	17,789,000	28.2
(3) 処理場費	764,338,325	15.6	881,907,921	17.9	663,725,464	14.2	△ 218,182,457	△ 24.7
(4) 総係費	1,102,677,976	22.5	1,135,831,826	23.0	1,153,161,302	24.6	17,329,476	1.5
(5) 減価償却費	2,699,647,017	55.1	2,693,845,285	54.6	2,458,061,092	52.4	△ 235,784,193	△ 8.8
(6) 資産減耗費	0	—	32,792,271	0.7	194,469,265	4.1	161,676,994	493.0
営業損益	△ 2,719,818,497	—	△ 2,929,369,238	—	△ 2,678,606,810	—	250,762,428	8.6
営業外収益	2,840,949,020	59.7	2,912,228,519	60.0	2,802,398,473	59.9	△ 109,830,046	△ 3.8
(1) 他会計負担金	141,104,000	3.0	185,366,000	3.8	146,496,000	3.1	△ 38,870,000	△ 21.0
(2) その他負担金	0	—	0	—	3,042,729	0.1	3,042,729	皆増
(3) 長期前受金戻入	2,699,647,017	56.7	2,726,637,556	56.1	2,652,530,357	56.7	△ 74,107,199	△ 2.7
(4) 雑収益	198,003	0.0	224,963	0.0	329,387	0.0	104,424	46.4
営業外費用	112,925,787	2.3	116,594,568	2.4	131,458,392	2.8	14,863,824	12.7
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	112,914,397	2.3	102,692,005	2.1	92,278,007	2.0	△ 10,413,998	△ 10.1
(2) 雑支出	11,390	0.0	13,902,563	0.3	39,180,385	0.8	25,277,822	181.8
営業外損益	2,728,023,233	—	2,795,633,951	—	2,670,940,081	—	△ 124,693,870	△ 4.5
経常損益	8,204,736	—	△ 133,735,287	—	△ 7,666,729	—	126,068,558	94.3
特別利益	996,677	0.0	61,503,893	1.2	0	—	△ 61,503,893	皆減
その他特別利益	996,677	0.0	61,503,893	1.2	0	—	△ 61,503,893	皆減
特別損失	148,998,817	3.0	972	0.0	0	—	△ 972	皆減
その他特別損失	148,998,817	3.0	972	0.0	0	—	△ 972	皆減
(事業収益合計)	4,758,177,098	100.0	4,857,580,812	100.0	4,678,958,153	100.0	△ 178,622,659	△ 3.7
(事業費用合計)	4,897,974,502	100.0	4,929,813,178	100.0	4,686,624,882	100.0	△ 243,188,296	△ 4.9
当年度純損益	△ 139,797,404	—	△ 72,232,366	—	△ 7,666,729	—	64,565,637	89.4
当年度未処理欠損金	139,797,404	—	212,029,770	—	219,696,499	—	7,666,729	3.6

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 別表 4

## 比較損益計算書（流域下水道事業）

科目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率(D)/(B)
営業収益	円 1,857,898,129	% 41.9	円 1,828,525,601	% 40.7	円 1,814,072,860	% 41.8	円 △ 14,452,741	% △ 0.8
(1) 負担金	1,857,898,129	41.9	1,828,525,601	40.7	1,814,072,860	41.8	△ 14,452,741	△ 0.8
(2) 下水道使用料	0	—	0	—	0	—	0	—
営業費用	4,317,978,964	94.8	4,464,820,685	97.8	4,222,738,884	97.2	△ 242,081,801	△ 5.4
(1) 管渠費	852,910	0.0	4,342,425	0.1	302,456	0.0	△ 4,039,969	△ 93.0
(2) ポンプ場費	64,595,000	1.4	38,930,819	0.9	75,250,910	1.7	36,320,091	93.3
(3) 処理場費	736,251,377	16.2	857,320,324	18.8	644,481,695	14.8	△ 212,838,629	△ 24.8
(4) 総係費	975,250,777	21.4	995,750,973	21.8	1,010,500,347	23.3	14,749,374	1.5
(5) 減価償却費	2,541,028,900	55.8	2,535,683,873	55.5	2,300,531,498	53.0	△ 235,152,375	△ 9.3
(6) 資産減耗費	0	—	32,792,271	0.7	191,671,978	4.4	158,879,707	484.5
営業損益	△ 2,460,080,835	—	△ 2,636,295,084	—	△ 2,408,666,024	—	227,629,060	8.6
営業外収益	2,571,786,903	58.1	2,599,019,469	57.9	2,524,527,592	58.2	△ 74,491,877	△ 2.9
(1) 他会計負担金	30,626,000	0.7	30,412,000	0.7	28,985,000	0.7	△ 1,427,000	△ 4.7
(2) その他負担金	0	—	0	—	3,042,729	0.1	3,042,729	皆増
(3) 長期前受金戻入	2,541,028,900	57.4	2,568,476,144	57.2	2,492,203,476	57.4	△ 76,272,668	△ 3.0
(4) 雑収益	132,003	0.0	131,325	0.0	296,387	0.0	165,062	125.7
営業外費用	112,865,055	2.5	102,643,848	2.2	120,655,916	2.8	18,012,068	17.5
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	112,865,055	2.5	102,643,848	2.2	92,231,951	2.1	△ 10,411,897	△ 10.1
(2) 雑支出	0	—	0	—	28,423,965	0.7	28,423,965	皆増
営業外損益	2,458,921,848	—	2,496,375,621	—	2,403,871,676	—	△ 92,503,945	△ 3.7
経常損益	△ 1,158,987	—	△ 139,919,463	—	△ 4,794,348	—	135,125,115	96.6
特別利益	0	—	61,503,893	1.3	0	—	△ 61,503,893	皆減
その他特別利益	0	—	61,503,893	1.3	0	—	△ 61,503,893	皆減
特別損失	125,893,369	2.8	0	—	0	—	0	—
その他特別損失	125,893,369	2.8	0	—	0	—	0	—
(事業収益合計)	4,429,685,032	100.0	4,489,048,963	100.0	4,338,600,452	100.0	△ 150,448,511	△ 3.4
(事業費用合計)	4,556,737,388	100.0	4,567,464,533	100.0	4,343,394,800	100.0	△ 224,069,733	△ 4.9
当年度純損益	△ 127,052,356	—	△ 78,415,570	—	△ 4,794,348	—	73,621,222	93.9
当年度未処理欠損金	127,052,356	—	205,467,926	—	210,262,274	—	4,794,348	2.3

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 別表 5

## 比較損益計算書（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）

科目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率(D)/(B)
営業収益	円 58,333,272	% 17.8	円 55,322,799	% 15.0	円 62,486,820	% 18.4	円 7,164,021	% 12.9
(1) 負担金	47,335,341	14.4	45,787,339	12.4	50,998,220	15.0	5,210,881	11.4
(2) 下水道使用料	10,997,931	3.3	9,535,460	2.6	11,488,600	3.4	1,953,140	20.5
営業費用	318,070,934	93.2	348,396,953	96.1	332,427,606	96.9	△ 15,969,347	△ 4.6
(1) 管渠費	60,000	0.0	1,340,000	0.4	4,500,001	1.3	3,160,001	235.8
(2) ポンプ場費	3,878,670	1.1	24,227,091	6.7	5,696,000	1.7	△ 18,531,091	△ 76.5
(3) 処理場費	28,086,948	8.2	24,587,597	6.8	19,243,769	5.6	△ 5,343,828	△ 21.7
(4) 総係費	127,427,199	37.3	140,080,853	38.7	142,660,955	41.6	2,580,102	1.8
(5) 減価償却費	158,618,117	46.5	158,161,412	43.6	157,529,594	45.9	△ 631,818	△ 0.4
(6) 資産減耗費	0	—	0	—	2,797,287	0.8	2,797,287	皆増
営業損益	△ 259,737,662	—	△ 293,074,154	—	△ 269,940,786	—	23,133,368	7.9
営業外収益	269,162,117	81.9	313,209,050	85.0	277,870,881	81.6	△ 35,338,169	△ 11.3
(1) 他会計負担金	110,478,000	33.6	154,954,000	42.0	117,511,000	34.5	△ 37,443,000	△ 24.2
(2) その他負担金	0	—	0	—	0	—	0	—
(3) 長期前受金戻入	158,618,117	48.3	158,161,412	42.9	160,326,881	47.1	2,165,469	1.4
(4) 雑収益	66,000	0.0	93,638	0.0	33,000	0.0	△ 60,638	△ 64.8
営業外費用	60,732	0.0	13,950,720	3.9	10,802,476	3.1	△ 3,148,244	△ 22.6
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	49,342	0.0	48,157	0.0	46,056	0.0	△ 2,101	△ 4.4
(2) 雑支出	11,390	0.0	13,902,563	3.8	10,756,420	3.1	△ 3,146,143	△ 22.6
営業外損益	269,101,385	—	299,258,330	—	267,068,405	—	△ 32,189,925	△ 10.8
経常損益	9,363,723	—	6,184,176	—	△ 2,872,381	—	△ 9,056,557	△ 146.4
特別利益	996,677	0.3	0	—	0	—	0	—
その他特別利益	996,677	0.3	0	—	0	—	0	—
特別損失	23,105,448	6.8	972	0.0	0	—	△ 972	皆減
その他特別損失	23,105,448	6.8	972	0.0	0	—	△ 972	皆減
(事業収益合計)	328,492,066	100.0	368,531,849	100.0	340,357,701	100.0	△ 28,174,148	△ 7.6
(事業費用合計)	341,237,114	100.0	362,348,645	100.0	343,230,082	100.0	△ 19,118,563	△ 5.3
当年度純損益	△ 12,745,048	—	6,183,204	—	△ 2,872,381	—	△ 9,055,585	△ 146.5
当年度未処理欠損金	12,745,048	—	6,561,844	—	9,434,225	—	2,872,381	43.8

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 別表 6

## 比較貸借対照表(1)(合計)

科目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率(D)/(B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定資産</b>	49,186,582,185	97.7	47,207,123,363	97.2	45,491,300,598	96.8	△ 1,715,822,765	△ 3.6
(1) 有形固定資産	49,185,833,773	97.7	47,206,374,951	97.2	45,490,552,186	96.8	△ 1,715,822,765	△ 3.6
土地	3,219,148,015	6.4	3,219,148,015	6.6	3,219,148,015	6.8	0	0.0
建物	6,869,996,918	13.7	6,586,249,271	13.6	6,299,796,191	13.4	△ 286,453,080	△ 4.3
構築物	26,823,042,467	53.3	25,911,902,107	53.3	24,853,252,941	52.9	△ 1,058,649,166	△ 4.1
機械及び装置	12,214,466,758	24.3	11,114,726,379	22.9	10,703,077,774	22.8	△ 411,648,605	△ 3.7
工具、器具及び備品	15,206,237	0.0	13,013,961	0.0	11,651,282	0.0	△ 1,362,679	△ 10.5
建設仮勘定	43,973,378	0.1	361,335,218	0.7	403,625,983	0.9	42,290,765	11.7
(2) 無形固定資産	748,412	0.0	748,412	0.0	748,412	0.0	0	0.0
借地権	6,567	0.0	6,567	0.0	6,567	0.0	0	0.0
地上権	741,845	0.0	741,845	0.0	741,845	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	1,139,003,165	2.3	1,366,306,828	2.8	1,504,190,620	3.2	137,883,792	10.1
(1) 現金預金	987,319,074	2.0	1,113,189,526	2.3	1,220,061,332	2.6	106,871,806	9.6
(2) 未収金	151,684,091	0.3	253,978,912	0.5	284,990,898	0.6	31,011,986	12.2
(3) 貸倒引当金	0	—	△ 861,610	0.0	△ 861,610	0.0	0	0.0
<b>(資産合計)</b>	50,325,585,350	100.0	48,573,430,191	100.0	46,995,491,218	100.0	△ 1,577,938,973	△ 3.2

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。



## 比較貸借対照表(2)(合計)

科 目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率(D)/(B)
<b>固定負債</b>	円	%	円	%	円	%	円	%
	6,241,565,384	12.4	5,903,834,216	12.2	5,585,845,873	11.9	△ 317,988,343	△ 5.4
(1) 企業債	6,241,565,384	12.4	5,903,834,216	12.2	5,585,845,873	11.9	△ 317,988,343	△ 5.4
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	6,118,915,384	12.2	5,788,528,216	11.9	5,477,883,873	11.7	△ 310,644,343	△ 5.4
その他の企業債	122,650,000	0.2	115,306,000	0.2	107,962,000	0.2	△ 7,344,000	△ 6.4
<b>流動負債</b>	1,457,708,513	2.9	1,659,579,560	3.4	1,795,639,564	3.8	136,060,004	8.2
(1) 企業債	522,623,625	1.0	528,731,167	1.1	512,988,342	1.1	△ 15,742,825	△ 3.0
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	517,769,625	1.0	521,387,167	1.1	505,644,342	1.1	△ 15,742,825	△ 3.0
その他の企業債	4,854,000	0.0	7,344,000	0.0	7,344,000	0.0	0	0.0
(2) 未払金	934,784,888	1.9	1,127,484,393	2.3	1,279,152,222	2.7	151,667,829	13.5
(3) 引当金	0	—	3,064,000	0.0	3,199,000	0.0	135,000	4.4
賞与引当金	0	—	2,569,000	0.0	2,676,000	0.0	107,000	4.2
法定福利費引当金	0	—	495,000	0.0	523,000	0.0	28,000	5.7
(4) その他流動負債	300,000	0.0	300,000	0.0	300,000	0.0	0	0.0
<b>繰延収益</b>	38,421,141,679	76.3	36,877,079,007	75.9	35,488,735,102	75.5	△ 1,388,343,905	△ 3.8
(1) 長期前受金	41,120,788,696	81.7	42,268,588,830	87.0	43,330,004,373	92.2	1,061,415,543	2.5
(2) 長期前受金 収益化累計額	△ 2,699,647,017	△ 5.4	△ 5,391,509,823	△ 11.1	△ 7,841,269,271	△ 16.7	△ 2,449,759,448	△ 45.4
<b>(負債合計)</b>	46,120,415,576	91.6	44,440,492,783	91.5	42,870,220,539	91.2	△ 1,570,272,244	△ 3.5
<b>資本金</b>	1,410,067,112	2.8	1,410,067,112	2.9	1,410,067,112	3.0	0	0.0
<b>剰余金</b>	2,795,102,662	5.6	2,722,870,296	5.6	2,715,203,567	5.8	△ 7,666,729	△ 0.3
(1) 資本剰余金	2,934,900,066	5.8	2,934,900,066	6.0	2,934,900,066	6.2	0	0.0
建設負担金	604,829,678	1.2	604,829,678	1.2	604,829,678	1.3	0	0.0
受贈財産評価額	635,548	0.0	635,548	0.0	635,548	0.0	0	0.0
他会計負担金	30,719,007	0.1	30,719,007	0.1	30,719,007	0.1	0	0.0
国庫補助金	1,666,832,810	3.3	1,666,832,810	3.4	1,666,832,810	3.5	0	0.0
その他負担金	19,304,018	0.0	19,304,018	0.0	19,304,018	0.0	0	0.0
その他資本剰余金	612,579,005	1.2	612,579,005	1.3	612,579,005	1.3	0	0.0
(2) 欠損金	139,797,404	0.3	212,029,770	0.4	219,696,499	0.5	7,666,729	3.6
当年度未処理欠損金	139,797,404	0.3	212,029,770	0.4	219,696,499	0.5	7,666,729	3.6
<b>(資本合計)</b>	4,205,169,774	8.4	4,132,937,408	8.5	4,125,270,679	8.8	△ 7,666,729	△ 0.2
<b>負債・資本合計</b>	50,325,585,350	100.0	48,573,430,191	100.0	46,995,491,218	100.0	△ 1,577,938,973	△ 3.2

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 別表 7

## 比較貸借対照表(1)(流域下水道事業)

科目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率(D)/(B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定資産</b>	46,024,871,870	97.8	44,112,540,823	97.5	42,419,163,662	96.9	△ 1,693,377,161	△ 3.8
(1) 有形固定資産	46,024,865,303	97.8	44,112,534,256	97.5	42,419,157,095	96.9	△ 1,693,377,161	△ 3.8
土地	3,066,100,435	6.5	3,066,100,435	6.8	3,066,100,435	7.0	0	0.0
建物	6,279,593,565	13.3	6,023,228,363	13.3	5,764,157,728	13.2	△ 259,070,635	△ 4.3
構築物	24,954,134,377	53.0	24,124,480,447	53.3	23,141,743,011	52.8	△ 982,737,436	△ 4.1
機械及び装置	11,694,461,562	24.8	10,644,013,720	23.5	10,066,995,566	23.0	△ 577,018,154	△ 5.4
工具、器具及び備品	14,990,238	0.0	12,797,962	0.0	11,435,283	0.0	△ 1,362,679	△ 10.6
建設仮勘定	15,585,126	0.0	241,913,329	0.5	368,725,072	0.8	126,811,743	52.4
(2) 無形固定資産	6,567	0.0	6,567	0.0	6,567	0.0	0	0.0
借地権	6,567	0.0	6,567	0.0	6,567	0.0	0	0.0
地上権	0	—	0	—	0	—	0	—
<b>流動資産</b>	1,053,187,703	2.2	1,136,468,655	2.5	1,368,899,846	3.1	232,431,191	20.5
(1) 現金預金	971,679,464	2.1	972,534,966	2.1	1,103,168,535	2.5	130,633,569	13.4
(2) 未収金	81,508,239	0.2	163,933,689	0.4	265,731,311	0.6	101,797,622	62.1
(3) 貸倒引当金	0	—	0	—	0	—	0	—
<b>(資産合計)</b>	47,078,059,573	100.0	45,249,009,478	100.0	43,788,063,508	100.0	△ 1,460,945,970	△ 3.2

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 比較貸借対照表(2)(流域下水道事業)

科 目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率(D)/(B)
<b>固定負債</b>	円	%	円	%	円	%	円	%
	6,215,855,384	13.2	5,879,696,216	13.0	5,563,279,873	12.7	△ 316,416,343	△ 5.4
(1) 企業債	6,215,855,384	13.2	5,879,696,216	13.0	5,563,279,873	12.7	△ 316,416,343	△ 5.4
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	6,118,915,384	13.0	5,788,528,216	12.8	5,477,883,873	12.5	△ 310,644,343	△ 5.4
その他の企業債	96,940,000	0.2	91,168,000	0.2	85,396,000	0.2	△ 5,772,000	△ 6.3
<b>流動負債</b>	1,419,698,928	3.0	1,528,711,110	3.4	1,678,041,157	3.8	149,330,047	9.8
(1) 企業債	521,711,625	1.1	527,159,167	1.2	511,416,342	1.2	△ 15,742,825	△ 3.0
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	517,769,625	1.1	521,387,167	1.2	505,644,342	1.2	△ 15,742,825	△ 3.0
その他の企業債	3,942,000	0.0	5,772,000	0.0	5,772,000	0.0	0	0.0
(2) 未払金	897,687,303	1.9	998,187,943	2.2	1,163,125,815	2.7	164,937,872	16.5
(3) 引当金	0	—	3,064,000	0.0	3,199,000	0.0	135,000	4.4
賞与引当金	0	—	2,569,000	0.0	2,676,000	0.0	107,000	4.2
法定福利費引当金	0	—	495,000	0.0	523,000	0.0	28,000	5.7
(4) その他流動負債	300,000	0.0	300,000	0.0	300,000	0.0	0	0.0
<b>繰延収益</b>	35,381,942,741	75.2	33,858,455,202	74.8	32,569,389,876	74.4	△ 1,289,065,326	△ 3.8
(1) 長期前受金	37,922,971,641	80.6	38,933,185,496	86.0	39,936,433,512	91.2	1,003,248,016	2.6
(2) 長期前受金 収益化累計額	△ 2,541,028,900	△ 5.4	△ 5,074,730,294	△ 11.2	△ 7,367,043,636	△ 16.8	△ 2,292,313,342	△ 45.1
<b>(負債合計)</b>	43,017,497,053	91.4	41,266,862,528	91.2	39,810,710,906	90.9	△ 1,456,151,622	△ 3.5
<b>資本金</b>	1,405,762,390	3.0	1,405,762,390	3.1	1,405,762,390	3.2	0	0.0
<b>剰余金</b>	2,654,800,130	5.6	2,576,384,560	5.7	2,571,590,212	5.9	△ 4,794,348	△ 0.2
(1) 資本剰余金	2,781,852,486	5.9	2,781,852,486	6.1	2,781,852,486	6.4	0	0.0
建設負担金	536,597,919	1.1	536,597,919	1.2	536,597,919	1.2	0	0.0
受贈財産評価額	635,548	0.0	635,548	0.0	635,548	0.0	0	0.0
他会計負担金	30,719,007	0.1	30,719,007	0.1	30,719,007	0.1	0	0.0
国庫補助金	1,601,334,642	3.4	1,601,334,642	3.5	1,601,334,642	3.7	0	0.0
その他負担金	0	—	0	—	0	—	0	—
その他資本剰余金	612,565,370	1.3	612,565,370	1.4	612,565,370	1.4	0	0.0
(2) 欠損金	127,052,356	0.3	205,467,926	0.5	210,262,274	0.5	4,794,348	2.3
当年度未処理欠損金	127,052,356	0.3	205,467,926	0.5	210,262,274	0.5	4,794,348	2.3
<b>(資本合計)</b>	4,060,562,520	8.6	3,982,146,950	8.8	3,977,352,602	9.1	△ 4,794,348	△ 0.1
<b>負債・資本合計</b>	47,078,059,573	100.0	45,249,009,478	100.0	43,788,063,508	100.0	△ 1,460,945,970	△ 3.2

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 別表 8

## 比較貸借対照表(1)(十和田湖特定環境保全公共下水道事業)

科目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率(D)/(B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定資産</b>	3,161,710,315	97.4	3,094,582,540	93.1	3,072,136,936	95.8	△ 22,445,604	△ 0.7
(1) 有形固定資産	3,160,968,470	97.3	3,093,840,695	93.1	3,071,395,091	95.8	△ 22,445,604	△ 0.7
土地	153,047,580	4.7	153,047,580	4.6	153,047,580	4.8	0	0.0
建物	590,403,353	18.2	563,020,908	16.9	535,638,463	16.7	△ 27,382,445	△ 4.9
構築物	1,868,908,090	57.5	1,787,421,660	53.8	1,711,509,930	53.4	△ 75,911,730	△ 4.2
機械及び装置	520,005,196	16.0	470,712,659	14.2	636,082,208	19.8	165,369,549	35.1
工具、器具及び備品	215,999	0.0	215,999	0.0	215,999	0.0	0	0.0
建設仮勘定	28,388,252	0.9	119,421,889	3.6	34,900,911	1.1	△ 84,520,978	△ 70.8
(2) 無形固定資産	741,845	0.0	741,845	0.0	741,845	0.0	0	0.0
借地権	0	—	0	—	0	—	0	—
地上権	741,845	0.0	741,845	0.0	741,845	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	85,815,462	2.6	229,838,173	6.9	135,290,774	4.2	△ 94,547,399	△ 41.1
(1) 現金預金	15,639,610	0.5	140,654,560	4.2	116,892,797	3.6	△ 23,761,763	△ 16.9
(2) 未収金	70,175,852	2.2	90,045,223	2.7	19,259,587	0.6	△ 70,785,636	△ 78.6
(3) 貸倒引当金	0	—	△ 861,610	0.0	△ 861,610	0.0	0	0.0
<b>(資産合計)</b>	3,247,525,777	100.0	3,324,420,713	100.0	3,207,427,710	100.0	△ 116,993,003	△ 3.5

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 比較貸借対照表（２）（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）

科 目	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C)-(B)	伸び率 (D)/(B)
<b>固定負債</b>	円 25,710,000	% 0.8	円 24,138,000	% 0.7	円 22,566,000	% 0.7	円 △ 1,572,000	% △ 6.5
(1) 企業債	25,710,000	0.8	24,138,000	0.7	22,566,000	0.7	△ 1,572,000	△ 6.5
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	0	—	0	—	0	—	0	—
その他の企業債	25,710,000	0.8	24,138,000	0.7	22,566,000	0.7	△ 1,572,000	△ 6.5
<b>流動負債</b>	38,009,585	1.2	130,868,450	3.9	117,598,407	3.7	△ 13,270,043	△ 10.1
(1) 企業債	912,000	0.0	1,572,000	0.0	1,572,000	0.0	0	0.0
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	0	—	0	—	0	—	0	—
その他の企業債	912,000	0.0	1,572,000	0.0	1,572,000	0.0	0	0.0
(2) 未払金	37,097,585	1.1	129,296,450	3.9	116,026,407	3.6	△ 13,270,043	△ 10.3
(3) 引当金	0	—	0	—	0	—	0	—
賞与引当金	0	—	0	—	0	—	0	—
法定福利費引当金	0	—	0	—	0	—	0	—
(4) その他流動負債	0	—	0	—	0	—	0	—
<b>繰延収益</b>	3,039,198,938	93.6	3,018,623,805	90.8	2,919,345,226	91.0	△ 99,278,579	△ 3.3
(1) 長期前受金	3,197,817,055	98.5	3,335,403,334	100.3	3,393,570,861	105.8	58,167,527	1.7
(2) 長期前受金 収益化累計額	△ 158,618,117	△ 4.9	△ 316,779,529	△ 9.5	△ 474,225,635	△ 14.8	△ 157,446,106	△ 49.7
<b>(負債合計)</b>	3,102,918,523	95.5	3,173,630,255	95.5	3,059,509,633	95.4	△ 114,120,622	△ 3.6
<b>資本金</b>	4,304,722	0.1	4,304,722	0.1	4,304,722	0.1	0	0.0
<b>剰余金</b>	140,302,532	4.3	146,485,736	4.4	143,613,355	4.5	△ 2,872,381	△ 2.0
(1) 資本剰余金	153,047,580	4.7	153,047,580	4.6	153,047,580	4.8	0	0.0
建設負担金	68,231,759	2.1	68,231,759	2.1	68,231,759	2.1	0	0.0
受贈財産評価額	0	—	0	—	0	—	0	—
他会計負担金	0	—	0	—	0	—	0	—
国庫補助金	65,498,168	2.0	65,498,168	2.0	65,498,168	2.0	0	0.0
その他負担金	19,304,018	0.6	19,304,018	0.6	19,304,018	0.6	0	0.0
その他資本剰余金	13,635	0.0	13,635	0.0	13,635	0.0	0	0.0
(2) 欠損金	12,745,048	0.4	6,561,844	0.2	9,434,225	0.3	2,872,381	43.8
当年度未処理欠損金	12,745,048	0.4	6,561,844	0.2	9,434,225	0.3	2,872,381	43.8
<b>(資本合計)</b>	144,607,254	4.5	150,790,458	4.5	147,918,077	4.6	△ 2,872,381	△ 1.9
<b>負債・資本合計</b>	3,247,525,777	100.0	3,324,420,713	100.0	3,207,427,710	100.0	△ 116,993,003	△ 3.5

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。



# 青 森 県 病 院 事 業 会 計





## 第1 審査の方法

令和4年度青森県病院事業会計の決算審査に当たっては、審査に付された決算書類及び決算附属書類について、青森県監査委員監査基準に準拠し、

- 1 適法性及び正確性
- 2 事業運営の経済性
- 3 公共の福祉の増進

などに重点をおき照合精査するとともに、定期監査及び例月出納検査の結果をも参考にして審査を実施した。

## 第2 審査の結果及び意見

審査の結果、決算書類及び決算附属書類は関係法令等に基づいて作成され、令和4年度の経営成績及び令和5年3月31日現在の財政状態を適正に表示していることを確認した。

事業運営については、経費の増加等により、今後も経営を取り巻く環境は厳しいことが予想されることから、引き続き経営の効率化に努める必要がある。

### 1 青森県立中央病院

当年度の事業収支は、事業収益29,430,394,707円に対し、事業費用29,022,239,548円で、純利益408,155,159円を計上している。

純利益は、前年度と比較し530,412,082円減少している。

過年度医業未収金は225,087,041円となっており、前年度より20,827,995円増加していることから、引き続き未収金の縮減に努める必要がある。

当病院は、県全域を対象とした高度急性期病院として、また、県内唯一の県立総合病院として、より質の高い高度・専門・政策医療を提供すること等により、県民の安全・安心を支えていくという大きな役割を担っている。

今後とも、県が策定した「青森県地域医療構想」を着実に推進していくため、令和5年3月に策定した「県立病院第2期チャレンジプラン～ポストコロナに向けて～」を踏まえ、引き続き、各種取組を確実に実施し、収益の向上及び費用の節減に努め、一層の経営の効率化を図る必要がある。

## 2 青森県立つくしが丘病院

当年度の事業収支は、事業収益1,777,318,244円、事業費用1,720,483,072円で、純利益56,835,172円を計上している。

純利益は、前年度と比較し12,275,894円減少している。

過年度医業未収金は14,919,496円となっており、前年度より62,678円減少しているものの、引き続き未収金の縮減に努める必要がある。

当病院は、県内唯一の県立精神科病院として、他の設置主体が対応困難な患者を受け入れるとともに、在宅支援の強化のため、令和元年度に訪問看護ステーションを開設し、患者の円滑な地域移行、さらには社会復帰を促進している。

今後とも、令和5年3月に策定した「県立病院第2期チャレンジプラン～ポストコロナに向けて～」を踏まえ、引き続き、各種取組を確実に実施し、収益の向上及び費用の節減に努め、一層の経営の効率化を図る必要がある。

## 第3 決算の概要

### 1 青森県立中央病院

#### (1) 事業の概況

##### ア 施設の状況

当年度における診療部門は、診療科目27科である。

病床数は一般病床679床及び感染症病床5床で、前年度と同じである。

##### イ 職員の状況

当年度末における職員数は1,214人で、前年度に比較して4人減少している。

これは、医師で5人、医療技術員で7人及び事務職員で6人増となったが、看護職員で20人及び労務員で2人減となったことによるものである。

##### ウ 施設の利用状況（別表1・2参照）

当年度の診療実績は延べ患者数473,301人で、前年度に比較して3,527人（0.8%）増加している。

これを入院、外来別にみると、入院で320人（0.2%）減少し、外来で3,847人（1.3%）増加している。

これは、主として、入院患者数では、血液内科で904人、循環器内科で876人、総合診療部で850人増となったが、外科で1,747人、消化器内科・腫瘍内科で982人減となったことによるものである。

また、外来患者数では、総合診療部で2,673人減となったが、消化器内科で1,586人、歯科口腔外科で1,413人、眼科で1,277人、循環器内科で1,030人及び内分泌内科で914人増となったことによるものである。

##### エ 建設改良の状況

当年度における建設改良費の総額は2,178,191,213円で、その主なものは、血管造影X線装置293,150,000円、電子カルテ等基幹システム218,272,308円、循環器用血管造影X線装置203,500,000円、空調・配管改修工事193,740,000円、衛生設備・各種配管等改修工事163,114,900円及び生体情報モニタリングシステム87,769,000円である。

## (2) 決算の状況

### ア 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	28,590,066,000	29,473,290,736	883,224,736	103.1
支 出	29,441,364,000	28,142,319,180	△ 1,299,044,820	95.6
収支差引	△ 851,298,000	1,330,971,556	2,182,269,556	—

### イ 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	2,360,220,000	2,296,878,727	△ 63,341,273	97.3
支 出	3,487,270,000	3,367,846,629	△ 119,423,371	96.6
収支差引	△ 1,127,050,000	△ 1,070,967,902	56,082,098	—

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,070,967,902円は、損益勘定留保資金1,068,439,163円並びに消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,528,739円で補っている。

## (3) 経営の実績 (別表3・4参照)

### ア 損益計算書

令和4年度の損益状況についてみると、事業収益29,430,394,707円から事業費用29,022,239,548円を差し引いた純利益は408,155,159円で、前年度の純利益938,567,241円に比較して530,412,082円(56.5%)減少している。

(ア) 医業収益は24,852,287,239円で、前年度に比較して430,123,361円(1.8%)増加している。

これは、その他医業収益で511,745,467円(66.3%)減となったものの、外来収益で544,636,275円(6.2%)及び入院収益で397,232,553円(2.7%)増となったことによるものである。

(イ) 医業外収益は4,578,107,468円で、前年度に比較して226,614,532円(4.7%)減少している。

これは、主として、その他医業外収益で37,816,438円(22.9%)増となったが、長期前受金戻入で132,847,703円(13.3%)及び負担金交付金で128,557,108円(3.6%)減となったことによるものである。

なお、高度医療及び救急医療等の不採算部門に対する一般会計からの負担金交付金は、1,322,577,000円である。

(ウ) 医業費用は27,340,374,543円で、前年度に比較して680,918,856円(2.6%)増加している。

これは、主として、材料費が504,755,948円(4.9%)及び経費が126,387,988円(4.4%)増となったことによるものである。

(エ) 医業外費用は1,681,865,005円で、前年度に比較して53,002,055円(3.3%)増加している。

これは、主として、雑損失で49,552,935円(3.2%)増となったことによるものである。

(オ) 医業収益から医業費用を差し引いた医業損失は2,488,087,304円で、前年度の医業損失2,237,291,809円に比較して250,795,495円(11.2%)増加している。

(カ) 医業収益及び医業外収益から医業費用及び医業外費用を差し引いた経常利益は408,155,159円で、前年度の経常利益938,567,241円に比較して530,412,082円(56.5%)減少している。

## イ 剰余金計算書

当年度利益剰余金は5,182,870,154円となったが、これは、前年度末残高4,833,714,995円から資本金に59,000,000円を組み入れ、当年度の純利益408,155,159円を加えたものである。

また、当年度未処分利益剰余金は408,155,159円となったが、これは当年度の純利益408,155,159円である。

## ウ 剰余金処分計算書(案)

当年度未処分利益剰余金408,155,159円は、建設改良積立金として全額を積み立てることになっている。

#### (4) 財政状況 (別表 4 参照)

##### ア 貸借対照表

###### (ア) 資産

当年度末における資産合計は32,353,096,138円で、前年度に比較して851,492,114円(2.7%)増加している。

これは、主として、流動資産のうち未収金で431,436,369円(9.3%)及び現金預金で339,868,116円(3.0%)増となったことによるものである。

###### (イ) 負債

当年度末における負債合計は19,777,260,146円で、前年度に比較して443,336,955円(2.3%)増加している。

これは、主として、繰延収益で241,254,660円(15.3%)減となったが、固定負債のうち企業債で616,536,847円(10.9%)増となったことによるものである。

###### (ウ) 資本

当年度末における資本合計は12,575,835,992円で、前年度に比較して408,155,159円(3.4%)増加している。

これは、純利益408,155,159円が生じたことによるものである。

##### イ 資金収支

当年度の受入資金総額57,708,274,986円に対し、支払資金総額は46,018,128,920円で、資金残高は11,690,146,066円であり、譲渡性預金4,000,000,000円、普通預金7,690,126,066円及び現金20,000円として保管されている。

## 2 青森県立つくしが丘病院

### (1) 事業の概況

#### ア 施設の状況

当年度における診療部門は診療科目3科、病床数は230床で、前年度と同じである。

#### イ 職員の状況

当年度末における職員数は107人で、前年度に比較して5人減少している。

これは、看護師で3人、医師で1人及び薬剤師で1人減となったことによるものである。

#### ウ 施設の利用状況（別表5参照）

当年度の診療実績は延べ患者数67,087人で、前年度に比較して3,382人（4.8%）減少している。

これを入院、外来別にみると、入院で3,349人（8.2%）減少し、外来で33人（0.1%）減少している。

また、「訪問看護ステーションつくしのえん」の当年度の利用実績は延べ利用者数2,905人で、前年度と比較して162人（5.3%）減少している。

#### エ 建設改良の状況

当年度における建設改良費の総額は70,522,699円で、その主なものは、エックス線一般撮影装置40,150,000円及び中央監視装置更新工事25,410,000円である。

### (2) 決算の状況

#### ア 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	1,959,697,000	1,779,532,599	△ 180,164,401	90.8
支 出	2,011,310,000	1,707,242,812	△ 304,067,188	84.9
収支差引	△ 51,613,000	72,289,787	123,902,787	—

## イ 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	118,888,000	118,888,000	0	100.0
支 出	122,274,999	122,272,699	△ 2,300	99.9
収支差引	△ 3,386,999	△ 3,384,699	2,300	—

資本的収入額が資本的支出額に不足する額3,384,699円は、損益勘定留保資金3,334,716円並びに消費税及び地方消費税資本的収支調整額49,983円で補てんしている。

### (3) 経営の実績 (別表6・7参照)

#### ア 損益計算書

令和4年度の損益状況についてみると、事業収益1,777,318,244円から事業費用1,720,483,072円を差し引いた純利益は56,835,172円で、前年度の純利益69,111,066円に比較して12,275,894円(17.8%)減少している。

(ア) 医業収益は1,061,250,510円で、前年度に比較して136,771,627円(11.4%)減少している。

これは、主として、入院収益で128,229,008円(15.2%)減となったことによるものである。

なお、訪問看護収益は44,008,350円である。

(イ) 医業外収益は716,067,734円で、前年度に比較して12,573,205円(1.8%)増加している。

これは、補助金で6,801,600円(皆減)、長期前受金戻入で6,280,357円(3.8%)及びその他医業外収益で2,505,837円(16.5%)減となったが、負担金交付金で28,160,999円(5.4%)増となったことによるものである。

なお、処遇困難病棟の運営及び長期入院に要する経費等の不採算部門に対する一般会計からの負担金交付金は、493,162,000円である。

(ウ) 医業費用は1,665,117,203円で、前年度に比較して112,575,333円(6.3%)減少している。

これは、主として、給与費で76,674,086円(7.0%)、経費で24,916,987円(7.8%)減となったことによるものである。



(エ) 医業外費用は55,365,869円で、前年度に比較して652,805円（1.2%）増加している。

これは、支払利息及び企業債取扱諸費で16,005円（17.0%）減となったが、雑損失で668,810円（1.2%）増となったことによるものである。

(オ) 医業収益から医業費用を差し引いた医業損失は603,866,693円で、前年度の医業損失579,670,399円に比較して24,196,294円（4.2%）増加している。

(カ) 医業収益及び医業外収益から医業費用及び医業外費用を差し引いた経常利益は56,835,172円で、前年度の経常利益69,111,066円に比較して12,275,894円（17.8%）減少している。

## イ 剰余金計算書

当年度未処分利益剰余金は56,835,172円となったが、これは、当年度の純利益56,835,172円である。

## ウ 剰余金処分計算書（案）

当年度未処分利益剰余金56,835,172円は、建設改良積立金として全額を積み立てることになっている。

## （４）財政状況（別表 7 参照）

### ア 貸借対照表

#### （ア）資 産

当年度末における資産合計は3,358,967,573円で、前年度に比較して39,339,690円（1.2%）減少している。

これは、主として、流動資産のうち現金預金で56,118,574円（3.9%）増となったが、固定資産のうち有形固定資産で93,926,187円（5.4%）減となったことによるものである。

#### （イ）負 債

当年度末における負債合計は2,512,576,212円で、前年度に比較して96,174,862円（3.7%）減少している。

これは、主として、固定負債のうち引当金で80,747,461円（40.7%）及び企業債で13,500,000円（17.8%）増となったが、繰延収益で106,658,562円（7.2%）及び流動負債のうち未払金で81,635,861円（35.7%）減となったことによるものである。

(ウ) 資 本

当年度末における資本合計は846,391,361円で、前年度に比較して56,835,172円（7.2%）増加している。

これは、純利益56,835,172円が生じたことによるものである。

**イ 資金収支**

当年度の受入資金総額3,184,063,685円に対し、支払資金総額は1,689,180,678円で、資金残高は1,494,883,007円であり、普通預金1,494,488,259円及び現金394,748円として保管されている。

別 表（青森県立中央病院）

別表1 利用患者状況調

別表2 年度別患者数比較表

別表3 比較損益計算書

別表4 比較貸借対照表



## 別表 1

## 利用患者状況調

年度	入院					外来			延べ患者数 合計	指 数
	延べ患者数	指 数	一日平均 患者数	病床数	病 床 利用率	延べ患者数	指 数	一日平均 患者数		
2	人 183,538	100.0	人 503	床 684	% 73.5	人 279,123	100.0	人 1,153	人 462,661	100.0
3	179,323	97.7	491	684	71.8	290,451	104.1	1,200	469,774	101.5
4	179,003	97.5	490	684	71.7	294,298	105.4	1,211	473,301	102.3

注：指数は令和2年度を100とした。

別表 2

年度別患者数比較表

区 分	令 和 2 年 度			令 和 3 年 度			令 和 4 年 度		
	延べ患者数	2 一 元	対前年度比	延べ患者数	3 一 2	対前年度比	延べ患者数	4 一 3	対前年度比
入 院 合 計	183,538	△ 20,603	89.9	179,323	△ 4,215	97.7	179,003	△ 320	99.8
一 般 計	183,147	△ 20,994	89.7	179,095	△ 4,052	97.8	178,520	△ 575	99.7
内分泌内科	3,762	△ 670	84.9	3,514	△ 248	93.4	2,882	△ 632	82.0
循環器内科	10,747	△ 710	93.8	9,649	△ 1,098	89.8	10,525	876	109.1
総合診療部	10,471	△ 1,776	85.5	11,703	1,232	111.8	12,553	850	107.3
消化器内科・腫瘍内科	22,592	△ 22	99.9	21,444	△ 1,148	94.9	20,462	△ 982	95.4
リウマチ膠原病内科	1,166	△ 117	90.9	1,315	149	112.8	1,155	△ 160	87.8
血液内科	21,358	△ 32	99.9	17,840	△ 3,518	83.5	18,744	904	105.1
呼吸器内科	16,458	△ 700	95.9	17,813	1,355	108.2	17,207	△ 606	96.6
呼吸器外科	3,656	△ 872	80.7	3,389	△ 267	92.7	3,380	△ 9	99.7
脳神経内科	9,226	△ 3,621	71.8	9,501	275	103.0	10,066	565	105.9
小児科	3,012	△ 3,322	47.6	3,758	746	124.8	2,892	△ 866	77.0
新生児科・NICU	4,814	△ 993	82.9	5,112	298	106.2	5,144	32	100.6
外科	14,237	△ 1,998	87.7	15,063	826	105.8	13,316	△ 1,747	88.4
整形外科	14,640	△ 1,470	90.9	16,621	1,981	113.5	17,098	477	102.9
脳神経外科	6,489	△ 1,364	82.6	5,903	△ 586	91.0	5,724	△ 179	97.0
心臓血管外科	7,318	△ 197	97.4	7,696	378	105.2	7,533	△ 163	97.9
産科・MFICU	7,060	△ 924	88.4	6,517	△ 543	92.3	7,137	620	109.5
婦人科	6,471	△ 32	99.5	6,216	△ 255	96.1	6,524	308	105.0
皮膚科	4,276	632	117.3	2,680	△ 1,596	62.7	2,800	120	104.5
泌尿器科	5,728	△ 791	87.9	4,985	△ 743	87.0	4,763	△ 222	95.5
眼科	2,429	△ 140	94.6	2,004	△ 425	82.5	2,511	507	125.3
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	6,243	△ 2,030	75.5	5,537	△ 706	88.7	5,137	△ 400	92.8
麻酔科	29	29	皆増	0	△ 29	皆減	39	39	皆増
歯科口腔外科	965	126	115.0	835	△ 130	86.5	928	93	111.1
感染症	391	391	皆増	228	△ 163	58.3	483	255	211.8
外 来 合 計	279,123	△ 26,217	91.4	290,451	11,328	104.1	294,298	3,847	101.3
内分泌内科	20,723	△ 4,704	81.5	18,927	△ 1,796	91.3	19,841	914	104.8
循環器内科	10,082	△ 885	91.9	10,650	568	105.6	11,680	1,030	109.7
総合診療部	11,663	234	102.0	20,386	8,723	174.8	17,713	△ 2,673	86.9
消化器内科	29,439	△ 1,625	94.8	31,009	1,570	105.3	32,595	1,586	105.1
腫瘍内科	265	63	131.2	379	114	143.0	730	351	192.6
リウマチ膠原病内科	17,052	△ 356	98.0	17,685	633	103.7	16,660	△ 1,025	94.2
血液内科	14,963	1,542	111.5	15,625	662	104.4	15,846	221	101.4
呼吸器内科	12,936	70	100.5	13,533	597	104.6	14,066	533	103.9
呼吸器外科	3,795	△ 355	91.4	3,734	△ 61	98.4	3,692	△ 42	98.9
脳神経内科	12,172	△ 2,808	81.3	12,163	△ 9	99.9	12,598	435	103.6
メンタルヘルス科	8,447	△ 2,972	74.0	7,612	△ 835	90.1	7,146	△ 466	93.9
小児科	10,129	△ 3,098	76.6	11,658	1,529	115.1	10,743	△ 915	92.2
新生児科	3,182	△ 409	88.6	3,498	316	109.9	3,761	263	107.5
外科	18,667	△ 1,891	90.8	18,183	△ 484	97.4	18,031	△ 152	99.2
形成・再建外科	386	△ 71	84.5	542	156	140.4	504	△ 38	93.0
リハビリテーション科	1,510	304	125.2	1,867	357	123.6	1,385	△ 482	74.2
整形外科	12,591	△ 857	93.6	13,335	744	105.9	13,182	△ 153	98.9
脳神経外科	2,380	△ 406	85.4	2,394	14	100.6	2,354	△ 40	98.3
心臓血管外科	2,483	△ 193	92.8	2,547	64	102.6	2,799	252	109.9
産婦人科	16,544	△ 2,429	87.2	15,755	△ 789	95.2	15,764	9	100.1
皮膚科	15,696	△ 201	98.7	14,968	△ 728	95.4	15,090	122	100.8
泌尿器科	9,372	△ 1,319	87.7	9,376	4	100.0	10,142	766	108.2
眼科	10,855	△ 1,550	87.5	11,605	750	106.9	12,882	1,277	111.0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	11,458	△ 1,015	91.9	10,155	△ 1,303	88.6	10,088	△ 67	99.3
放射線部	661	△ 118	84.9	670	9	101.4	585	△ 85	87.3
腫瘍放射線科	4,783	67	101.4	5,267	484	110.1	6,018	751	114.3
麻酔科	1,453	△ 354	80.4	1,455	2	100.1	1,362	△ 93	93.6
緩和医療科	229	△ 293	43.9	192	△ 37	83.8	184	△ 8	95.8
神経血管内治療部	63	△ 4	94.0	34	△ 29	54.0	3	△ 31	8.8
リンパ浮腫外来	0	△ 1	皆減	0	0	-	0	0	-
臨床遺伝科	119	26	128.0	176	57	147.9	370	194	210.2
歯科口腔外科	15,025	△ 609	96.1	15,071	46	100.3	16,484	1,413	109.4
総 計	462,661	△ 46,820	90.8	469,774	7,113	101.5	473,301	3,527	100.8

## 別表 3

## 比較損益計算書

科目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率(D)/(B)
医業収益	円 23,129,350,872	% 81.8	円 24,422,163,878	% 83.6	円 24,852,287,239	% 84.4	円 430,123,361	% 1.8
(1) 入院収益	14,848,399,616	52.5	14,906,483,950	51.0	15,303,716,503	52.0	397,232,553	2.7
(2) 外来収益	8,035,993,449	28.4	8,743,421,382	29.9	9,288,057,657	31.6	544,636,275	6.2
(3) その他医業収益	244,957,807	0.9	772,258,546	2.6	260,513,079	0.9	△ 511,745,467	△ 66.3
医業費用	25,273,516,433	92.7	26,659,455,687	94.2	27,340,374,543	94.2	680,918,856	2.6
(1) 給与費	10,858,929,632	39.8	11,406,136,227	40.3	11,429,019,943	39.4	22,883,716	0.2
(2) 材料費	9,465,549,140	34.7	10,237,270,049	36.2	10,742,025,997	37.0	504,755,948	4.9
(3) 経費	2,865,646,332	10.5	2,890,314,399	10.2	3,016,702,387	10.4	126,387,988	4.4
(4) 研究研修費	58,478,975	0.2	67,718,181	0.2	91,165,178	0.3	23,446,997	34.6
(5) 減価償却費	1,889,931,346	6.9	1,914,034,221	6.8	1,884,578,305	6.5	△ 29,455,916	△ 1.5
(6) 長期前払消費税償却	102,528,320	0.4	118,817,181	0.4	126,770,873	0.4	7,953,692	6.7
(7) 資産減耗費	32,452,688	0.1	25,165,429	0.1	50,111,860	0.2	24,946,431	99.1
(医業損益)	△ 2,144,165,561	—	△ 2,237,291,809	—	△ 2,488,087,304	—	△ 250,795,495	△ 11.2
医業外収益	4,774,826,600	16.9	4,804,722,000	16.4	4,578,107,468	15.6	△ 226,614,532	△ 4.7
(1) 受取利息配当金	664,405	0.0	425,349	0.0	546,533	0.0	121,184	28.5
(2) 補助金	130,776,049	0.5	46,012,133	0.2	42,864,790	0.1	△ 3,147,343	△ 6.8
(3) 負担金交付金	3,424,642,365	12.1	3,595,849,278	12.3	3,467,292,170	11.8	△ 128,557,108	△ 3.6
(4) 長期前受金戻入	1,048,654,669	3.7	997,183,794	3.4	864,336,091	2.9	△ 132,847,703	△ 13.3
(5) その他医業外収益	170,089,112	0.6	165,251,446	0.6	203,067,884	0.7	37,816,438	22.9
医業外費用	1,614,508,735	5.9	1,628,862,950	5.8	1,681,865,005	5.8	53,002,055	3.3
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	53,102,347	0.2	48,893,300	0.2	46,145,005	0.2	△ 2,748,295	△ 5.6
(2) 保育所費	54,033,889	0.2	55,000,195	0.2	61,197,610	0.2	6,197,415	11.3
(3) 雑損失	1,507,372,499	5.5	1,524,969,455	5.4	1,574,522,390	5.4	49,552,935	3.2
(医業外損益)	3,160,317,865	—	3,175,859,050	—	2,896,242,463	—	△ 279,616,587	△ 8.8
経常損益	1,016,152,304	—	938,567,241	—	408,155,159	—	△ 530,412,082	△ 56.5
特別利益	377,000,000	—	0	—	0	—	0	—
その他特別利益	377,000,000	—	0	—	0	—	0	—
特別損失	377,000,000	—	0	—	0	—	0	—
その他特別損失	377,000,000	—	0	—	0	—	0	—
(事業収益合計)	28,281,177,472	100.0	29,226,885,878	100.0	29,430,394,707	100.0	203,508,829	0.7
(事業費用合計)	27,265,025,168	100.0	28,288,318,637	100.0	29,022,239,548	100.0	733,920,911	2.6
当年度純損益	1,016,152,304	—	938,567,241	—	408,155,159	—	△ 530,412,082	△ 56.5
前年度繰越剰余金	62,105,978	—	0	—	0	—	0	—
その他未処分利益剰余金 変動額	399,950,000	—	59,000,000	—	0	—	△ 59,000,000	皆減
当年度未処分利益剰余金	1,478,208,282	—	997,567,241	—	408,155,159	—	△ 589,412,082	△ 59.1

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 別表 4

## 比較貸借対照表(1)

科 目	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C)-(B)	伸び率 (D)/(B)
<b>固定資産</b>	円 15,167,571,432	% 49.7	円 15,179,930,407	% 48.2	円 15,249,893,868	% 47.1	円 69,963,461	% 0.5
(1) 有形固定資産	14,199,090,046	46.6	14,141,831,503	44.9	14,178,728,051	43.8	36,896,548	0.3
土地	1,121,666,197	3.7	1,121,666,197	3.6	1,121,666,197	3.5	0	0.0
建物	8,012,162,981	26.3	7,738,798,809	24.6	7,432,418,283	23.0	△ 306,380,526	△ 4.0
構築物	70,183,609	0.2	60,777,296	0.2	53,243,038	0.2	△ 7,534,258	△ 12.4
器械備品	3,722,565,718	12.2	3,477,121,932	11.0	3,886,387,525	12.0	409,265,593	11.8
車両	10,988,736	0.0	8,661,275	0.0	6,333,814	0.0	△ 2,327,461	△ 26.9
リース資産	1,144,340,638	3.8	1,676,834,427	5.3	1,624,721,503	5.0	△ 52,112,924	△ 3.1
受贈財産評価額資産	9,699,737	0.0	8,337,769	0.0	7,406,621	0.0	△ 931,148	△ 11.2
建設仮勘定	107,433,180	0.4	49,584,548	0.2	46,501,820	0.1	△ 3,082,728	△ 6.2
その他有形固定資産	49,250	0.0	49,250	0.0	49,250	0.0	0	0.0
(2) 無形固定資産	217,100,530	0.7	217,568,460	0.7	187,829,620	0.6	△ 29,738,840	△ 13.7
電話加入権	29,791,200	0.1	29,791,200	0.1	29,791,200	0.1	0	0.0
ソフトウェア	186,633,580	0.6	187,777,260	0.6	158,038,420	0.5	△ 29,738,840	△ 15.8
リース資産	675,750	0.0	0	—	0	—	—	—
(3) 投資その他の資産	751,380,856	2.5	820,530,444	2.6	883,336,197	2.7	62,805,753	7.7
長期前払消費税	751,329,196	2.5	820,478,784	2.6	883,284,537	2.7	62,805,753	7.7
その他投資	51,660	0.0	51,660	0.0	51,660	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	15,326,005,133	50.3	16,321,673,617	51.8	17,103,202,270	52.9	781,528,653	4.8
(1) 現金預金	10,751,739,602	35.3	11,350,277,950	36.0	11,690,146,066	36.1	339,868,116	3.0
(2) 未収金	4,279,846,994	14.0	4,636,508,351	14.7	5,067,944,720	15.7	431,436,369	9.3
過年度医業未収金	174,206,621	0.6	204,259,046	0.6	225,087,041	0.7	20,827,995	10.2
年度内医業未収金	4,025,502,024	13.2	4,387,367,522	13.9	4,750,490,186	14.7	363,122,664	8.3
年度内医業外未収金	43,630,825	0.1	39,390,592	0.1	80,000,778	0.2	40,610,186	103.1
年度内その他未収金	36,507,524	0.1	5,491,191	0.0	12,366,715	0.0	6,875,524	125.2
(3) 未収金貸倒引当金	△ 28,146,626	△ 0.1	△ 21,376,658	△ 0.1	△ 21,312,776	△ 0.1	63,882	0.3
(4) 貯蔵品	322,565,163	1.1	356,263,974	1.1	366,424,260	1.1	10,160,286	2.9
<b>(資産合計)</b>	30,493,576,565	100.0	31,501,604,024	100.0	32,353,096,138	100.0	851,492,114	2.7

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。



## 比較貸借対照表(2)

科 目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率(D)/(B)
<b>固定負債</b>	円 12,321,487,506	% 40.4	円 13,072,304,285	% 41.5	円 13,764,488,267	% 42.5	円 692,183,982	% 5.3
(1) 企業債	5,850,487,307	19.2	5,646,831,891	17.9	6,263,368,738	19.4	616,536,847	10.9
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	5,850,487,307	19.2	5,646,831,891	17.9	6,263,368,738	19.4	616,536,847	10.9
(2) 他会計借入金	3,990,000,000	13.1	3,890,000,000	12.3	3,790,000,000	11.7	△100,000,000	△2.6
その他長期借入金	3,990,000,000	13.1	3,890,000,000	12.3	3,790,000,000	11.7	△100,000,000	△2.6
(3) リース債務	970,469,427	3.2	1,443,213,709	4.6	1,320,049,491	4.1	△123,164,218	△8.5
(4) 引当金	1,510,530,772	5.0	2,092,258,685	6.6	2,391,070,038	7.4	298,811,353	14.3
退職給付引当金	1,510,530,772	5.0	2,092,258,685	6.6	2,391,070,038	7.4	298,811,353	14.3
<b>流動負債</b>	5,071,885,842	16.6	4,688,244,390	14.9	4,680,652,023	14.5	△7,592,367	△0.2
(1) 企業債	1,084,677,094	3.6	1,089,655,416	3.5	1,056,463,153	3.3	△33,192,263	△3.0
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	1,084,677,094	3.6	1,089,655,416	3.5	1,056,463,153	3.3	△33,192,263	△3.0
(2) 他会計借入金	100,000,000	0.3	100,000,000	0.3	100,000,000	0.3	0	0.0
その他長期借入金	100,000,000	0.3	100,000,000	0.3	100,000,000	0.3	0	0.0
(3) リース債務	283,217,067	0.9	397,355,928	1.3	464,327,568	1.4	66,971,640	16.9
(4) 未払金	2,906,175,613	9.5	2,396,865,176	7.6	2,348,366,018	7.3	△48,499,158	△2.0
医業未払金	1,104,782,698	3.6	970,299,202	3.1	827,474,110	2.6	△142,825,092	△14.7
医業外未払金	12,345,065	0.0	40,210,002	0.1	5,434,128	0.0	△34,775,874	△86.5
その他未払金	1,789,047,850	5.9	1,386,355,972	4.4	1,515,457,780	4.7	129,101,808	9.3
(5) 引当金	624,983,000	2.0	625,034,000	2.0	619,705,000	1.9	△5,329,000	△0.9
賞与引当金	524,410,000	1.7	524,261,000	1.7	518,912,000	1.6	△5,349,000	△1.0
法定福利費引当金	100,573,000	0.3	100,773,000	0.3	100,793,000	0.3	20,000	0.0
(6) その他流動負債	72,833,068	0.2	79,333,870	0.3	91,790,284	0.3	12,456,414	15.7
<b>繰延収益</b>	1,871,089,625	6.1	1,573,374,516	5.0	1,332,119,856	4.1	△241,254,660	△15.3
(1) 長期前受金	13,236,317,845	43.4	13,721,049,382	43.6	13,699,384,300	42.3	△21,665,082	△0.2
(2) 長期前受金 収益化累計額	△11,365,228,220	△37.3	△12,147,674,866	△38.6	△12,367,264,444	△38.2	△219,589,578	△0.2
<b>(負債合計)</b>	19,264,462,973	63.2	19,333,923,191	61.4	19,777,260,146	61.1	443,336,955	2.3
<b>資本金</b>	6,934,015,838	22.7	7,333,965,838	23.3	7,392,965,838	22.9	59,000,000	0.8
<b>剰余金</b>	4,295,097,754	14.1	4,833,714,995	15.3	5,182,870,154	16.0	349,155,159	7.2
(1) 利益剰余金	4,295,097,754	14.1	4,833,714,995	15.3	5,182,870,154	16.0	349,155,159	7.2
建設改良積立金	2,816,889,472	9.2	3,836,147,754	12.2	4,774,714,995	14.8	938,567,241	24.5
当年度未処分 利益剰余金	1,478,208,282	4.8	997,567,241	3.2	408,155,159	1.3	△589,412,082	△59.1
<b>(資本合計)</b>	11,229,113,592	36.8	12,167,680,833	38.6	12,575,835,992	38.9	408,155,159	3.4
<b>負債・資本合計</b>	30,493,576,565	100.0	31,501,604,024	100.0	32,353,096,138	100.0	851,492,114	2.7

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。



別 表（青森県立つくしが丘病院）

別表5 利用患者状況調

別表6 比較損益計算書

別表7 比較貸借対照表



別表 5

利用患者状況調

年度	入院					外来			延べ患者数計 合	指数
	延べ患者数	指数	一日平均患者数	病床数	病床利用率	延べ患者数	指数	一日平均患者数		
2	41,029 人	100.0	112 人	230 床	48.9 %	29,347 人	100.0	121 人	70,376 人	100.0
3	40,847	99.6	112	230	48.7	29,622	100.9	122	70,469	100.1
4	37,498	91.4	103	230	44.7	29,589	100.8	122	67,087	95.3

注：指数は、令和2年度を100とした。

【参考：訪問看護収益】

年度	延べ利用者数	指数	1日平均患者数	稼働額	1人1日単価
	人		人	千円	円
2	3,210	100.0	13.2	47,898	14,921
3	3,067	95.5	12.7	45,706	14,903
4	2,905	90.5	12.0	44,141	15,195

注：指数は、令和2年度を100とした。

## 別表 6

## 比較損益計算書

科目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C)-(B)	伸び率(D)/(B)
医業収益	円 1,163,302,001	% 63.1	円 1,198,022,137	% 63.0	円 1,061,250,510	% 59.7	円 △ 136,771,627	% △ 11.4
(1) 入院収益	805,008,102	43.6	841,127,071	44.2	712,898,063	40.1	△ 128,229,008	△ 15.2
(2) 外来収益	301,405,666	16.3	298,321,911	15.7	293,733,123	16.5	△ 4,588,788	△ 1.5
(3) その他医業収益	56,888,233	3.1	58,573,155	3.1	54,619,324	3.1	△ 3,953,831	△ 6.8
医業費用	1,708,582,804	96.3	1,777,692,536	97.0	1,665,117,203	96.8	△ 112,575,333	△ 6.3
(1) 給与費	1,075,783,081	60.6	1,097,249,144	59.9	1,020,575,058	59.3	△ 76,674,086	△ 7.0
(2) 材料費	189,651,845	10.7	189,985,399	10.4	185,999,782	10.8	△ 3,985,617	△ 2.1
(3) 経費	287,113,230	16.2	319,644,740	17.4	294,727,753	17.1	△ 24,916,987	△ 7.8
(4) 研究研修費	2,137,517	0.1	2,394,340	0.1	1,189,552	0.1	△ 1,204,788	△ 50.3
(5) 減価償却費	149,078,916	8.4	155,061,766	8.5	156,995,522	9.1	1,933,756	1.2
(6) 長期前払消費税償却	3,226,537	0.2	3,418,179	0.2	3,655,100	0.2	236,921	6.9
(7) 資産減耗費	1,591,678	0.1	9,938,968	0.5	1,974,436	0.1	△ 7,964,532	△ 80.1
(医業損益)	△ 545,280,803	—	△ 579,670,399	—	△ 603,866,693	—	△ 24,196,294	△ 4.2
医業外収益	673,456,924	36.5	703,494,529	37.0	716,067,734	40.3	12,573,205	1.8
(1) 補助金	10,250,500	0.6	6,801,600	0.4	0	—	△ 6,801,600	皆減
(2) 負担金交付金	500,545,222	27.1	516,782,384	27.2	544,943,383	30.7	28,160,999	5.4
(3) 長期前受金戻入	150,516,347	8.2	164,744,539	8.7	158,464,182	8.9	△ 6,280,357	△ 3.8
(4) その他医業外収益	12,144,855	0.7	15,166,006	0.8	12,660,169	0.7	△ 2,505,837	△ 16.5
医業外費用	57,427,514	3.2	54,713,064	3.0	55,365,869	3.2	652,805	1.2
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	106,599	0.0	94,380	0.0	78,375	0.0	△ 16,005	△ 17.0
(2) 雑損失	57,320,915	3.2	54,618,684	3.0	55,287,494	3.2	668,810	1.2
(医業外損益)	616,029,410	—	648,781,465	—	660,701,865	—	11,920,400	1.8
経常損益	70,748,607	—	69,111,066	—	56,835,172	—	△ 12,275,894	△ 17.8
特別利益	8,050,000	0.4	0	—	0	—	0	—
その他特別利益	8,050,000	0.4	0	—	0	—	0	—
特別損失	8,050,000	0.5	0	—	0	—	0	—
その他特別損失	8,050,000	0.5	0	—	0	—	0	—
(事業収益合計)	1,844,808,925	100.0	1,901,516,666	100.0	1,777,318,244	100.0	△ 124,198,422	△ 6.5
(事業費用合計)	1,774,060,318	100.0	1,832,405,600	100.0	1,720,483,072	100.0	△ 111,922,528	△ 6.1
当年度純損益	70,748,607	—	69,111,066	—	56,835,172	—	△ 12,275,894	△ 17.8
前年度繰越欠損金	62,105,978	—	0	—	0	—	0	—
当年度未処分利益剰余金	8,642,629	—	69,111,066	—	56,835,172	—	△ 12,275,894	△ 17.8

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 別表 7

## 比較貸借対照表(1)

科 目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C)-(B)	伸び率 (D)/(B)
<b>固定資産</b>	円 1,918,604,031	% 57.5	円 1,765,156,977	% 51.9	円 1,673,070,481	% 49.8	円 △ 92,086,496	% △ 5.2
(1) 有形固定資産	1,902,201,396	57.0	1,751,644,038	51.5	1,657,717,851	49.4	△ 93,926,187	△ 5.4
土地	85,197,226	2.6	85,197,226	2.5	85,197,226	2.5	0	0.0
建物	1,527,539,957	45.7	1,423,414,078	41.9	1,342,388,199	40.0	△ 81,025,879	△ 5.7
構築物	122,380,134	3.7	107,891,177	3.2	93,402,220	2.8	△ 14,488,957	△ 13.4
器械備品	165,004,865	4.9	133,660,120	3.9	135,719,774	4.0	2,059,654	1.5
車両	2,079,214	0.1	1,481,437	0.0	1,010,432	0.0	△ 471,005	△ 31.8
(2) 無形固定資産	4,601,400	0.1	3,817,400	0.1	3,033,400	0.1	△ 784,000	△ 20.5
電話加入権	745,400	0.0	745,400	0.0	745,400	0.0	0	0.0
ソフトウェア	3,856,000	0.1	3,072,000	0.1	2,288,000	0.1	△ 784,000	△ 25.5
(3) 投資その他の資産	11,801,235	0.4	9,695,539	0.3	12,319,230	0.4	2,623,691	27.1
長期前払消費税	11,767,605	0.4	9,661,909	0.3	12,285,600	0.4	2,623,691	27.2
その他投資	33,630	0.0	33,630	0.0	33,630	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	1,420,751,053	42.5	1,633,150,286	48.1	1,685,897,092	50.2	52,746,806	3.2
(1) 現金預金	1,197,030,078	35.8	1,438,764,433	42.3	1,494,883,007	44.5	56,118,574	3.9
(2) 未収金	217,573,711	6.5	188,822,720	5.6	185,898,533	5.5	△ 2,924,187	△ 1.5
過年度医業未収金	15,025,686	0.4	14,982,174	0.4	14,919,496	0.4	△ 62,678	△ 0.4
年度内医業未収金	184,250,672	5.5	167,775,030	4.9	165,208,939	4.9	△ 2,566,091	△ 1.5
年度内医業外未収金	15,918,223	0.5	5,664,059	0.2	5,367,255	0.2	△ 296,804	△ 5.2
年度内その他未収金	2,379,130	0.1	401,457	0.0	402,843	0.0	1,386	0.3
(3) 未収金貸倒引当金	△ 2,046,553	△ 0.1	△ 2,234,644	△ 0.1	△ 2,157,688	△ 0.1	76,956	3.4
(4) 貯蔵品	8,193,817	0.2	7,797,777	0.2	7,273,240	0.2	△ 524,537	△ 6.7
<b>(資産合計)</b>	3,339,355,084	100.0	3,398,307,263	100.0	3,358,967,573	100.0	△ 39,339,690	△ 1.2

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 比較貸借対照表(2)

科 目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D) = (C)-(B)	伸び率(D)/(B)
<b>固定負債</b>	円 812,055,002	% 24.3	円 784,076,686	% 23.1	円 878,324,147	% 26.1	円 94,247,461	% 12.0
(1) 企業債	118,500,000	3.5	75,750,000	2.2	89,250,000	2.7	13,500,000	17.8
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	118,500,000	3.5	75,750,000	2.2	89,250,000	2.7	13,500,000	17.8
(2) 他会計借入金	510,000,000	15.3	510,000,000	15.0	510,000,000	15.2	0	0.0
その他長期借入金	510,000,000	15.3	510,000,000	15.0	510,000,000	15.2	0	0.0
(3) 引当金	183,555,002	5.5	198,326,686	5.8	279,074,147	8.3	80,747,461	40.7
退職給付引当金	183,555,002	5.5	198,326,686	5.8	279,074,147	8.3	80,747,461	40.7
<b>流動負債</b>	215,914,470	6.5	349,975,711	10.3	266,211,950	7.9	△ 83,763,761	△ 23.9
(1) 企業債	45,000,000	1.3	51,750,000	1.5	53,500,000	1.6	1,750,000	3.4
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	45,000,000	1.3	51,750,000	1.5	53,500,000	1.6	1,750,000	3.4
(2) 未払金	102,239,384	3.1	228,795,791	6.7	147,159,930	4.4	△ 81,635,861	△ 35.7
医業未払金	48,109,826	1.4	113,942,030	3.4	57,170,381	1.7	△ 56,771,649	△ 49.8
医業外未払金	366,260	0.0	755,800	0.0	84,800	0.0	△ 671,000	△ 88.8
その他未払金	53,763,298	1.6	114,097,961	3.4	89,904,749	2.7	△ 24,193,212	△ 21.2
(3) 引当金	63,549,000	1.9	64,252,000	1.9	61,041,000	1.8	△ 3,211,000	△ 5.0
賞与引当金	53,323,000	1.6	53,893,000	1.6	51,088,000	1.5	△ 2,805,000	△ 5.2
法定福利費引当金	10,226,000	0.3	10,359,000	0.3	9,953,000	0.3	△ 406,000	△ 3.9
(4) その他流動負債	5,126,086	0.2	5,177,920	0.2	4,511,020	0.1	△ 666,900	△ 12.9
<b>繰延収益</b>	1,590,940,489	47.6	1,474,698,677	43.4	1,368,040,115	40.7	△ 106,658,562	△ 7.2
(1) 長期前受金	3,515,452,729	105.3	3,370,147,532	99.2	3,385,428,952	100.8	15,281,420	0.5
(2) 長期前受金 収益化累計額	△ 1,924,512,240	△ 57.6	△ 1,895,448,855	△ 55.8	△ 2,017,388,837	△ 60.1	△ 121,939,982	△ 6.4
<b>(負債合計)</b>	2,618,909,961	78.4	2,608,751,074	76.8	2,512,576,212	74.8	△ 96,174,862	△ 3.7
<b>資本金</b>	711,802,494	21.3	711,802,494	20.9	711,802,494	21.2	0	0.0
自己資本金	711,802,494	21.3	711,802,494	20.9	711,802,494	21.2	0	0.0
<b>剰余金</b>	8,642,629	0.3	77,753,695	2.3	134,588,867	4.0	56,835,172	73.1
(1) 利益剰余金	8,642,629	0.3	77,753,695	2.3	134,588,867	4.0	56,835,172	73.1
建設改良積立金	0	—	8,642,629	0.3	77,753,695	2.3	69,111,066	799.7
当年度未処分 利益剰余金	8,642,629	0.3	69,111,066	2.0	56,835,172	1.7	△ 12,275,894	△ 17.8
<b>(資本合計)</b>	720,445,123	21.6	789,556,189	23.2	846,391,361	25.2	56,835,172	7.2
<b>負債・資本合計</b>	3,339,355,084	100.0	3,398,307,263	100.0	3,358,967,573	100.0	△ 39,339,690	△ 1.2

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。





